

2019 年度

## リハビリテーション部門施設紹介



独立行政法人  
**国立病院機構**  
National Hospital Organization  
九州グループ



## 目 次

小倉医療センター	2
九州がんセンター	4
九州医療センター	7
福岡病院	9
大牟田病院	1 1
福岡東医療センター	1 3
佐賀病院	1 5
肥前精神医療センター	1 7
東佐賀病院	2 0
嬉野医療センター	2 2
長崎病院	2 4
長崎医療センター	2 7
長崎川棚医療センター	2 9
熊本医療センター	3 1
熊本南病院	3 3
菊池病院	3 6
熊本再春医療センター	3 8
大分医療センター	4 0
別府医療センター	4 2
西別府病院	4 5
宮崎東病院	4 7
都城医療センター	4 9
宮崎病院	5 1
鹿児島医療センター	5 4
指宿医療センター	5 6
南九州病院	5 8
沖縄病院	6 0
琉球病院	6 2
菊池恵楓園	6 4
星塚敬愛園	6 6
奄美和光園	6 9
宮古南静園	7 2
沖縄愛楽園	7 4

令和元年 1 2 月 1 日発行

表紙：国立病院機構九州ブロックホームページから引用



## 施設の紹介

### 🌸 理念・基本方針

「この街には、この病院があるから住みたいと思われるような病院」を目指します。

### 🌿 施設の概要

政策医療（がん、肝疾患、精神疾患）

準政策医療（周産期・未熟児医療、内分泌代謝疾患）

### 🌺 施設の特徴

1. がんの診療（肝胆道系、消化器系、膵臓癌、乳がん、婦人科のがん、骨腫瘍、肺がん、血液疾患など多岐にわたる分野をカバー）
2. 肝疾患医療（急性・慢性肝炎、肝硬変、脂肪肝など）
3. 精神医療（特に身体合併症）
4. 小児や産科を中心とした救急医療
5. 成育医療（周産期および新生児医療）
6. 内分泌（甲状腺、脳下垂体位、副腎）・代謝疾患（糖尿病、メタボリックシンドローム、肥満）の診療
7. 呼吸器疾患（気管支喘息、気管支炎、肺炎など）の診療
8. 血液疾患や膠原病の診療
9. 整形外科ではとくに脊椎疾患の専門的な治療
10. 小児神経疾患の診療
11. 眼科疾患（白内障、緑内障）の診療

## リハビリテーション部門の紹介 (2019 年 4 月 1 日現在)

### 理念

「私たちは、心身の病気や障害を持った方々が、自分自身の能力を十分に活かしながら、家庭や地域社会で主体的に生活していかれることのお手伝いをします。」

### スタッフ

P T (常勤) 6 名、O T (常勤) 3 名 、S T (常勤) 1 名

### 施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料 (Ⅱ)

廃用症候群リハビリテーション料 (Ⅱ)

運動器疾患リハビリテーション料 (Ⅰ)

呼吸器疾患リハビリテーション料 (Ⅰ)

がん患者リハビリテーション料

精神科作業療法

### 週間スケジュール

毎日 8 : 30 ~ ミーティング・掃除

カンファレンスや回診 (外科・消化器内科・呼吸器内科・整形外科・包括病棟)

### 主な対象疾患と特色

整形外科 (脊椎術後の患者が多い)、呼吸器疾患、精神疾患の廃用症候群、小児科疾患 (小児喘息、重症児の運動・呼吸面へのアプローチ)、

I C U、N I C U

摂食機能療法

地域包括ケア病棟 (H29.2 より)

### 施設内活動への参加状況

管理診療会議・月次評価会・医療安全委員会・セイフティ・マネジメント部会・ICT・NST・ホスピタリティ向上委員会・糖尿病教室・肥満教室・病院祭実行委員会・緩和ケアラウンド・褥瘡ラウンド。

### 研究・発表活動

国立病院総合医学会

### IT 環境

電子カルテ (富士通)、部門システム (リハメイト)

### 連休等の対応

毎週土曜日と連休日の何れか 1 日 (整形外科疾患術後のなど)

### 宿日直等の業務

なし

### その他

なし

文責：中園尚志



所在地

〒811-1395

福岡県福岡市南区野多目 3-1-1

電 話

092-541-3231

## 施設紹介

### ● 理念・基本方針

私たちは「病む人の気持ちを」そして家族の気持ちを尊重し  
温かく、思いやりのある、最良のがん医療をめざします。

#### 1. 患者様の人権尊重

患者様の知る権利と自由意思などを保障し尊重いたします。

#### 2. 診療の充実と強化

九州におけるがん医療の基幹施設として、診断、治療の向上と高度先駆的がん医療をめざします。

#### 3. 臨床研究の推進

基礎と臨床とを結ぶ研究を積極的に推進し、がん医療の発展と進歩に貢献します。

#### 4. 教育、研修の充実

がんに関する教育、研修機能を充実させ、医療従事者の質の向上を図り、将来のがん医療を担う人材を育成します。

#### 5. 情報の収集と発信

わが国のみならず世界のがん情報を収集し、マルチメディアなどを利用して医療従事者および国民の皆様へ、医療情報を提供します。

### ● 施設の概要

医療法承認病床数      総数 411 床

### ● 施設の特徴

がん政策医療ネットワークの基幹医療施設です。福岡県の都道府県がん診療連携拠点病院に指定。

### ● その他

新病院開院      平成 28 年 3 月

病院機能評価    H23 年              Ver. 6

H29 年 5 月      3rdG : Ver 1.1

## リハビリテーション部門の紹介 (令和元年8月1日現在)

### ■ 理念

私たち理学療法士は、「病む人の気持ち」を、そして「家族の気持ち」を尊重し、患者自らの意思に基づいて生活、行動できる基盤を作ります。

### ■ スタッフ

P T 5 名 (常勤)    S T 1 名 (常勤)

### ■ 施設基準

運動器リハビリテーション料 (Ⅰ)

呼吸器リハビリテーション料 (Ⅰ)

がん患者リハビリテーション料

脳血管リハビリテーション料 (Ⅲ)

### ■ 週間スケジュール

P T : 月曜日 褥瘡回診 (4週目のみ)

カンファレンス (呼吸器腫瘍科、褥瘡 ; 1週目のみ)

火曜日 消化管外科回診

カンファレンス (消化管・腫瘍内科、乳腺科)

水曜日 整形外科回診・カンファレンス (整形外科、BMT、呼吸器腫瘍科、婦人科、緩和ケア、消化器・肝胆膵内科)

木曜日 カンファレンス (消化管外科・肝胆膵外科、血液内科、小児科)

金曜日 カンファレンス (泌尿器科、整形外科) 骨転移がんサポート

S T : 火曜日 消化管外科回診

カンファレンス (頭頸科)

木曜日 頭頸科回診 N S T ラウンド カンファレンス (消化管・肝胆膵外科)

### ■ 主な対象疾患と特色

がん疾患全般 (周術期、廃用症候群、骨髄移植前後など)

原疾患の進行や手術・放射線治療・化学療法に伴う副作用や体調の変化への対応、骨転移に対する注意が必要。

周術期外来からの介入 (消化管外科、呼吸器腫瘍科)

AYA 世代サポート、骨髄移植後フォローアップ外来

### ■ 施設内活動への参加状況

管理診療会議、クオリティマネジメント委員会、セーフティマネジメント部会、褥創予防対策委員会、緩和ケア作業部会、クリティカルパス委員会、院内感染防止対策委員会 N S T 委員会  
患者サービス向上委員会、周術期管理チーム、高齢者・認知症対策チーム、AYA 世代サポートチーム

#### 研究・発表活動（令和元年度）

日本頭頸部癌学会 ST 1 題

日本食道学会学術集会 PT 1 題 ST 1 題

国立病院総合医学会 PT 1 題（予定）

#### IT 環境

平成 26 年 1 月 電子カルテ導入（SSI：ソフトウェア・サービス）。 部門システムー無し

#### 連休等の対応

長期休暇時は交代で対応

#### 宿日直等の業務

なし

#### その他

平成 28 年 3 月 全面建て替え、開院

令和元年 7 月 リハビリテーション科患者満足度調査実施

文責：山元竜二





独立行政法人 国立病院機構

九州医療センター

所在地：〒810-8563 福岡市中央区地行浜 1 丁目 8 番地 1 号

電話：092-852-0700



## 施設の紹介

### ● 理念・基本方針

#### ▼ 基本理念

病む人に寄り添い、  
安全かつ最適な医療を提供します。

#### ▼ 運営方針

1. 国立病院機構病院として果たすべき医療、高度総合医療を実施する。
2. 医療の安全管理に万全を期し、患者さん本位の安心・納得の医療を提供する。
3. 信頼と心の通う医療連携を通じ、地域社会へ積極的な貢献を果たす。
4. 臨床研究を積極的に行い、医療・医学の発展に貢献する。
5. 医療従事者の教育研修、養成に指導的役割を果たす。
6. 医療に関する有用な最新情報を積極的に発信する。
7. 健全経営を堅持し、患者さん・職員がともに満足できる医療を志向する。

### ● 施設の概要

702 床（一般 650 床・精神 50 床・感染症 2 床）

【ICU 4 床、HCU 4 床、SCU 6 床、NICU 9 床、GCU 6 床】

### ● 施設の特徴

九州医療センターは、21 世紀に向けて国立医療機関にふさわしい機能の強化を図るため、国立福岡中央病院と国立久留米病院を統合し、九州全域を診療圏とする高度先駆的医療施設として 1994 年に福岡市シーサイドももち地区に新設されました。

1999 年 3 月の政策医療推進計画では高度総合医療施設に位置づけられ、あわせて循環器病、がん、血液・造血器疾患、肝疾患、成育、免疫異常疾患、内分泌・代謝疾患、腎疾患、感覚器疾患、精神疾患の専門医療施設、また病院機能評価認定病院、DPC（急性期入院医療に係る診断群分類別包括評価）導入病院、地域医療支援病院、単独型臨床研修指定病院、エイズ・広域災害の九州ブロック拠点病院として、診療、臨床研究、教育・研修の 3 つの柱に情報発信という機能を加え、より多様な医療ニーズに 대응しています。

2004 年 4 月、国立から独立行政法人へ移行しました。現在では名実ともに九州を代表する医療施設に成長し、さらにより高い機能充実に向けて変革を続けています。

### ● その他

- ・ 2008 年 2 月 厚生労働大臣より「地域がん診療連携拠点病院」の指定
- ・ 2008 年 4 月 臨床研究部が臨床研究センターに昇格
- ・ 2014 年 6 月 MCC（Medical Coordinate Center）運用開始（総合医療支援）
- ・ 2016 年 3 月 救命救急センター指定
- ・ 2019 年 5 月 病院機能評価認定 3rdG:Ver. 2.0



## リハビリテーション部門の紹介（令和元年 8 月 1 日現在）

### ■ 理念

#### 【基本方針】

地域医療支援病院として、さらには高度先駆的総合医療機関としての役割を果たす当医療センターの運営方針のもと、患者の皆様の人としての尊厳を最大限に尊重し、入院早期から家庭復帰・社会復帰に向け、適切な時期に最適なりハビリテーションを提供することを目指します。また、直接復帰が困難な場合は、リハビリテーション専門病院との継ぎ目のない連携を図ります。

### ■ スタッフ

部長（兼）1 名、リハ担当医（兼）1 名、PT（常勤）10 名、OT（常勤）3 名、ST（常勤）3 名

### ■ 施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）

運動器疾患リハビリテーション料（Ⅰ）

心・大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）

呼吸器疾患リハビリテーション料（Ⅰ）

がん患者リハビリテーション料

### ■ 週間スケジュール

毎日：8：30 ミーティング 各病棟・ドクナス・退院調整カンファレンス

毎月：業務改善会議

4 ヶ月に 1 回 リハビリテーション部運営委員会

### ■ 主な対象疾患と特色

脳血管疾患、整形外科疾患、心疾患、呼吸器疾患、癌など。

脳血管疾患に関しては、病態の重症度に合わせた 3 つのクリティカルパスに沿って、入院の翌日から急性期リハを展開している。

### ■ 施設内活動への参加状況

管理診療会議、業務調整会議、月次決算評価会、クリティカルパス委員会、セーフティーマネジメント部会、セーフティ外来小部会、NST 委員会、MOTTAINAI 委員会、BLS 委員会、勤務環境改善委員会、災害対策委員会

### ■ 研究・発表活動

リハビリテーション医学会を始め、各種学会へ参加。可能な限り演題発表を行う。

### ■ IT 環境

平成 28 年 9 月 電子カルテ（富士通）。部門システムはリハメイト。

### ■ 連休等の対応

PT・OT は輪番で土曜・日曜日に 1 名（半日）出勤、ST は原則として土曜日 1 名終日出勤。

長期休暇（ゴールデンウィーク・年末年始等）も交代で出勤。

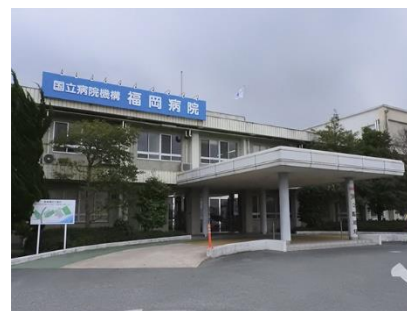
### ■ 宿日直等の業務 なし

### ■ その他

近隣施設との医療—医療連携を促進するため、当院を含む 3 施設でワーキンググループを実施中。

文責：梶原秀明

所在地：〒811-1394 福岡市南区屋形原4丁目39-1号  
電 話：092-565-5534（代表） F A X：092-566-0702



## 施設の紹介

### ● 理念・基本方針

#### 基本理念

標語：「思いやり」 病と闘う人への共感と、良質の医療を目指す向上心

#### 運営方針

##### 1. 親切・丁寧な、人間志向の患者診療

患者さんに優しい、親切で丁寧な医療を目指します。

##### 2. 国立病院機構としての良質で専門的な医療と、地域との緊密な医療連携

国立病院機構の一員として使命感を持って臨床と研究・情報発信を行いながら、地域医療にも積極的に全力で貢献します。

##### 3. 常に向上心を持つ、士気の高いスタッフの育成

自らを律し、新しい知識と技術の習得のためにたゆまぬ努力を払います。

##### 4. 医療を志す若人から選ばれる、魅力にあふれた病院創り

質の高い臨床研究と専門性の高い医療研修を行うことにより、次世代の優れた医療人の育成に努めます。

##### 5. 健全・効率的で透明性の高い病院経営

病院運営を円滑に行うための確固たる財政的基盤を築くとともに、その透明性の確保に努めます。

### ● 施設の概要

病床数：330床（一般病棟170床、地域包括ケア病棟30床、重心病棟130床）

### ● 施設の特徴

当院は、政策医療として、免疫・アレルギーの基幹施設（福岡県アレルギー疾患医療拠点病院）、成育医療、重症心身障害の専門医療施設として機能附与されており地域医療機関との病診連携を図り地域医療のニーズに対応するとともに、逐年増加する非結核性胸部疾患、特に慢性閉塞性肺疾患（慢性気管支炎・気管支喘息・慢性肺気腫）の治

療並びに呼吸不全施設としての診療と臨床研究を行っています。

## リハビリテーション部門の紹介 (令和元年8月1日現在)

### ■ 理念

- ・患者から信頼される心のこもったリハビリテーションの提供
- ・医学理論に基づいた質の高いリハビリテーションの提供
- ・的確な評価に基づいた効率的なリハビリテーションの提供

### ■ スタッフ

リハビリテーション科医長1名、PT6名(常勤)、OT2名(常勤)+1名(非常勤)

### ■ 施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)	廃用症候群リハビリテーション料(Ⅱ)
運動器疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	呼吸器疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
心大血管リハビリテーション料(Ⅰ)	障害児・者リハビリテーション料

### ■ 週間スケジュール

毎日8:30～ ミーティング

毎週水曜日8:00～8:30 勉強会(リハスタッフ・呼吸器内科医師 合同)

毎週火曜日・木曜日・金曜日13:45～ 病棟リハカンファレンス

毎週水曜日13:00～ 循環器科リハカンファレンス

### ■ 主な対象疾患と特色

呼吸器疾患・重症心身障害児(者)を中心に、心疾患、呼吸器外科術前術後、関節リウマチ等です。当呼吸リハビリ棟は呼吸リハビリ専門施設として開設された全国的にも数少ない施設です。

リハ区分別割合としては呼吸器リハが約50%、重心リハ20-30%、心疾患リハ10%、脳血管リハ・廃用リハ・運動器リハが10-20%となっています。

### ■ 施設内活動への参加状況

ICTラウンド、RSTチーム、重症心身障害児(者)会議、セーフティマネジメント部会、管理診療会議、病床運営効率化検討部会、病床調整会議、情報システム委員会、いきいきセミナー(呼吸不全教室)運営委員会、アレルギー・喘息教室委員会、健康フェア準備委員会 等

### ■ 研究・発表活動

呼吸器疾患及び、重症心身障害児(者)リハビリに関連するものを中心に行っています。

### ■ IT環境

電子カルテ(FUJITSU EGMAIN-LX)および部門システム(リハマネージャー)を使用。院内LAN、リハ棟内LANはあります。業務に必要な評価や報告書は、リハ科内データベース(ACCESS)で管理を行っています。

### ■ 連休等の対応

年末・年始や大型連休に対し、4連休以上にならないよう勤務調整することが基本です。

### ■ 宿日直等の業務 なし

### ■ その他

2019.6月より地域包括ケア病棟30床が運用開始となりました。それに伴い、不定期に土曜日の出勤を行うことがあります。

文責：竹下明伸

## 施設の紹介

### ● 理念・基本方針

「病む人の気持ちを大切にして、安全  
で最善な医療を提供します」

### ● 施設の概要

402 床

[一般病棟 220 床、結核病棟 20 床、重症病棟 80 床、筋ジス病棟 80 床、感染症病床 2 床]

### ● 施設の特徴

従来呼吸器疾患の専門医療機関として、結核はもとより呼吸器感染症、肺癌、慢性閉塞性肺疾患（気管支喘息、肺気腫など）、睡眠時無呼吸症候群などを対象として参りました。

さらに平成 16 年 12 月からは、旧筑後病院との統合により神経内科の専門医療機関として、筋ジストロフィー症、筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、てんかん、末梢神経障害、各種頭痛、重症筋無力症などの神経筋難病を取り扱っています。

また有明二次医療圏では初の福岡県指定認知症医療センター（地域拠点型）を平成 23 年 11 月に開設しました。

- ・呼吸器疾患の専門的医療
- ・神経筋疾患の専門的医療
- ・重症心身障害児・者の専門的医療

## リハビリテーション部門の紹介（令和 1 年 8 月 1 日現在）

### ■ 理念

基本理念：『病む人の気持ちを大切にして、安全で最善な医療を提供します。』

### ■ スタッフ

リハ科医長（兼任：脳神経内科部長）1 名、

P T（常勤）7 名、O T（常勤）6 名、S T（常勤）4 名、非常勤 6 時間職員（助手）1 名

### ■ 施設基準

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ） | ・廃用症候群リハビリテーション料    |
| 運動器疾患リハビリテーション料（Ⅰ）  | ・呼吸器疾患リハビリテーション料（Ⅰ） |
| 障害児・者リハビリテーション料     | ・がん患者リハビリテーション料     |
| 認知症患者リハビリテーション料     |                     |

### ■ 週間・月間スケジュール

毎日 8：30～ 朝礼、隔週木曜日朝礼後リハミーティング、第 2 木曜日 16：30～リハ科運営会議、第 4 木曜日 8：40～リハ科ミーティング、勉強会・管理職会議、勤務終了時刻 17：15

## ■ 主な対象疾患と特色

神経難病疾患、筋ジストロフィー症、呼吸器疾患、重症心身障害児（者）、がん患者、認知症患者 廃用症候群を対象にしています。当リハ科の最大の特徴は、年間60症例を超える筋ジス在宅医療の質的向上を目指した、2泊3日 or 4泊5日短期入院“通称：筋ジスポートサービス”であります。運動機能・ADL能力・摂食機能は高度に専門分化した詳細な評価による予後予測を実施し、可及的長期に亘り在宅生活が安全に過ごせるような援助を実施しており、平成23年12月に実施要項を改訂（第2版）し、近隣施設への普及に努めています。

## ■ 施設内活動への参加状況

管理診療会議、重心病棟連絡会議、リスクマネジメント委員会、院内感染防止対策委員会、褥瘡対策チーム委員会、患者サービス向上委員会、クリティカルパス委員会、栄養サポートチーム委員会・緩和ケア委員会・いずれも1回／月 ・病院主催の健康展・・・1回／年 ・院内勉強会、地域

施設外活動としては筋ジスサマーキャンプ、大牟田市健康フェアへ参加しています。

## ■ 研究・発表活動

平成30年度学会発表は国立病院総合医学会・筋ジス研究班・日本摂食・嚥下リハビリテーション学会で5題採択されました。

## ■ IT 環境

平成30年12月より電子カルテ運用開始です。

## ■ その他

平成29年4月より、理学療法士長・作業療法士長・運動療法主任・主任作業療法士の4名を管理職として配置しています。

## ■ 各部門の紹介

【理学療法：7名】神経難病、筋ジストロフィー症、重症心身障害児（者）に対しては、疾患・症状に合わせた関節拘縮予防や筋萎縮予防運動と呼吸練習（蘇生バックを用いて声門を閉じるエアスタック・カフアシストを用いた咳の介助）を組み合わせで行っています。車いすや座位保持装具の新規作成は12件となりました。呼吸器内科では肺炎後の廃用予防やACBTによる排痰練習を実施しています。呼吸器外科では、術前入院当日からリハビリテーション介入できるように努めています。

【作業療法：6名】主に神経難病、筋ジストロフィーなどの患者様の症状にあわせて、日常生活動作訓練、作業活動、コミュニケーションの手段の検討などを行い、患者様のADLの向上を主目標に作業療法を提供しています。患者さんからの同意を得て院内で使用されている代替えナースコールを一元管理する体制を整えました。また、今年度より呼吸器疾患やがんに対してのリハビリテーションを開始しました。

【言語療法：4名】主に脳疾患や神経・筋疾患の患者様のコミュニケーション障害、咀嚼・飲み込み障害に対して専門的医療サービスを提供しています。また、今年度より新たに疾患別リハの廃用症候群リハを開始し対象となる疾患を拡大できました。がん患者リハの研修も終えがんリハも開始していく予定です。

文責：高野雅弘





NATIONAL FUKUOKA-HIGASHI MEDICAL CENTER  
独立行政法人国立病院機構

# 福岡東医療センター



## 施設の紹介

所在地：〒811-3195 福岡県古賀市千鳥1丁目1-1

電話：092-943-2331(代表)

## ● 理念・基本方針

病院の基本理念

「当たり前のことを実践し、地域に信頼される病院」

病院の運営方針

- ①全ての思いを汲み、全ての力を結集し、安全で安心な医療を提供します。
- ②地域に開かれ、地域に根ざした病院を目指します。
- ③職員が一体となり健全な病院経営に努めます。

## ● 施設の概要

591床（一般421床、結核38床、感染症12床、重症心身障害120床） ※令和元年8月1日現在

## ● 施設の特徴

1. 平成26年4月救命救急センターを開設して急性期一般医療を担う地域の中核的病院です。
2. 国の再編計画に基づく政策医療推進の役割を担っていますが、特に九州ブロックの呼吸器疾患の基幹病院であり、また循環器疾患、内分泌疾患、重症心身障害の専門病院に認定されています。
3. 平成26年7月感染症センター（第一種・第二種感染症病棟、結核病棟）を地域住民の理解を得て開設しました。
4. 平成21年に福岡県災害拠点病院に指定され、熊本地震の際にもDMAT・JMAT隊を現地派遣致しました。
5. 腫瘍センターを開設し、がん診療連携拠点病院に認定されています。
6. 政策医療の一環である重症心身障害者医療の協力施設であり、生命の大切さを実感できる研修を体験できます。
7. 平成20年度より当院敷地内に福岡女学院看護大学が開校しています。
8. リハビリ室は平成28年5月1日に外来管理診療棟2Fの延床面積502㎡の場所に移転しました。

## ● その他

- ・とびうめネットとは、福岡県の安心・安全な在宅医療を支援する医師会が提供するサービスです。患者様の医療情報を患者様のお許しを頂いて登録し、かかりつけ医と患者様が選んだ2次病院が共有して救急時に支援するネットワークを当院が主体となって作りました。
- ・地域医療支援病院（開放型病院登録医療機関129施設）

## リハビリテーション部門の紹介（令和元年8月1日現在）

### ■ 職場目標

1. 学術活動・研究活動への積極的参加
2. 地域住民の方へのリハの積極的貢献
3. 効率的な療法活動の実施

### ■ 臨床実習

P T : 1 件/年  
O T : 0 件/年  
S T : 1 件/年

### ■ スタッフ

リハ医（兼任）1 名、P T（常勤）10 名、O T（常勤）7 名、S T（常勤）4 名、  
非常勤職員（助手）2 名

### ■ 施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）、運動器疾患リハビリテーション料（Ⅰ）  
呼吸器疾患リハビリテーション料（Ⅰ）、心・大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）  
がん疾患リハビリテーション、障害児・者リハビリテーション料、集団コミュニケーション療法料

### ■ 週間スケジュール

毎日 8：30～リハ科ミーティング 不定期：S T 症例検討会 月曜日：O T 症例検討会  
火曜日 整形外科回診  
水曜日 脳神経内科・リハ科合同回診、緩和ケアラウンド、呼吸器カンファ、外科カンファ  
木・金曜日 整形外科術前・術後カンファレンス（P T・O T）  
金曜日 理学療法科症例検討会、呼吸器内科・外科カンファレンス、重心病棟カンファレンス

### ■ 主な対象疾患と特色

脳卒中基幹病院としての急性期リハの取り組み、整形外科疾患、呼吸器疾患、心疾患リハ、がんリハ

### ■ 施設内活動への参加状況

管理診療会議、医療安全委員会、地域医療連携委員会、救急委員会、クリティカルパス委員会、職員満足度委員会、N S T 会議、口腔ケアラウンド、I C T 部会、褥瘡防止委員会、R S T 委員会・ラウンド

看護部勉強会への講師派遣、糖尿病教室への講師派遣

### ■ 研究・発表活動

リハ科プロジェクトのひとつとして、研修・研究体制の向上を掲げており、年間予定をたてながら積極的に臨床研究を行っています。

### ■ IT 環境

電子カルテ導入（平成 23 年 7 月より富士通）

### ■ 連休等の対応

土曜出勤（1 名）を行い、脳卒中患者、外科術後パス、E R・I C U の早期理学療法を実施しています。年末年始、ゴールデンウィーク、シルバーウィーク等の連休については連続して 3 日休診しないように P T・O T・S T の協働で対応しています。

### ■ 宿日直等の業務

なし

### ■ その他

平成 20 年 7 月に 5 階建ての病棟開棟時に各フロアに 18 m<sup>2</sup>のサテライトリハビリ室を完備した。

ワークライフバランスに併せて、働き方改革に取り組んでいます。

文責：井形勉





## 施設の紹介 (令和元年 10 月現在)

### 🌸 基本理念

赤ちゃんからお年寄りまで、患者さんに優しい病院、家族に対しても思いやりのある そして 質のよい医療が提供できる病院をめざします。

1. 高度で先駆的な生育医療の提供
2. がんに対する高度専門的医療の提供
3. 臨床研究の推進
4. 生涯教育・研修・養成の推進

### 🌿 施設の概要

医療法上定床 入院 292 床 (一般 292 床)

診療科：

内科、循環器科、小児科、外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科

眼科、麻酔科、放射線科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、リハビリテーション科

### 🌟 施設の特徴

佐賀市の中心部より北西で佐賀駅から北へ 1km の場所にあります。また、九州自動車道の佐賀大和インターチェンジから国道 263 号線を南に佐賀方面へ約 6km 下がった交通の便の良い場所にあります。

○総合周産期母子医療センター：平成 22 年 9 月に佐賀県唯一の総合周産期母子医療センターとして認定を受けました。

○救急告示病院：平成 23 年 1 月 28 日に救急告示病院指定を受けております。

○地域医療支援病院：平成 23 年 3 月 9 日から地域医療支援病院となりました。

○DPC 病院：平成 23 年 4 月 1 日より DPC 対象病院となりました。

## その他

当院のシンボルマーク（最上段左）は、健康の象徴である「太陽」（赤部分）と、未来に向かって発展していく「医療」（オレンジ部分）と、地域を結ぶ国立病院機構佐賀病院の「S」（緑部分）が、元気な子供が手を上げている様子で構成されています。

## リハビリテーション部門の紹介（令和元年 10 月現在）

### 理念

0 歳から 100 歳まで診療科の垣根を越えて最適かつ最良なリハビリテーションサービスを提供し、笑顔と元気を取り戻すことを目指します。

### スタッフ

理学療法士（常勤）5 名、作業療法士（常勤）2 名

言語聴覚士（非常勤）1 名（NH0 東佐賀病院より毎週木曜日 NST 活動として来院）

### 施設基準

運動器疾患リハビリテーション料（Ⅰ） 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）

呼吸器疾患リハビリテーション料（Ⅰ） 廃用症候群リハビリテーション料（Ⅱ）

がん患者リハビリテーション料

### 主な対象疾患と特色

整形疾患（四肢骨折・脊椎疾患等）、乳がん術後、開腹・開胸術前術後、各種疾病による廃用症候群、NICU でのリハビリテーションも行っている

### 施設内活動への参加状況

リスクマネジメント部会、クリティカルパス検討委員会、NST 委員会、NST ラウンド、医療サービス向上委員会、糖尿病教室、糖尿病チーム会議、緩和ケアチーム委員会、緩和ケアチームラウンド、がんリハビリテーション委員会、プレストチーム会議、病院情報システム運営委員会、褥創対策・医療安全管理・院内感染対策予防委員会、褥瘡回診、整形外科回診、地域連携パス会議、等々

### 研究・発表活動

整形外科や呼吸器疾患、がんリハビリテーションの研究および症例発表

### IT 環境

電子カルテ（SOFT MAX）

### 連休等の対応

4 連休以上の休日となる場合は交代で出勤し平日に振替取得

### 宿日直等の業務

なし

### その他

新外来診療棟が完成し、平成 29 年 3 月中旬より新リハビリテーション室での稼働開始

文責：渡邊靖晃



独立行政法人 国立病院機構  
**肥前精神医療センター**  
HIZEN PSYCHIATRIC CENTER

所在地：〒842-0192

佐賀県神埼郡吉野ヶ里町三津 160

電話：0952-52-3231 FAX：0952-53-2864



## 施設紹介

### ➤ 基本理念：The Most Important Persons In This Hospital Is The Patient

～この病院で最も大切な人は患者様である。～

この理念のもとに人としての尊厳と人権を守り、信頼される医療を提供し、  
高度の医療・臨床研究・研修の創造的統合を目指します。

### ➤ 運営方針：精神疾患の基幹医療施設として先駆的高度専門医療と

精神保健医療従事者の育成に努める。

I. 政策医療（精神科救急、依存症治療、司法精神医療、重症心身障害者医療）を推進する

II. 子どもの心の診療拠点病院、認知症疾患医療センターおよび依存症医療センターとして統合的モデル事業を推進する。

III. 包括的精神科リハビリテーションのモデル医療を推進する。

IV. 医療法制研修センターの機能充実を図り、多職種医療従事者に対する教育研修を推進し、本邦に寄与する人材を育成する。

VII. 安定した医療を提供するため、健全経営を志向する。

### ➤ 施設概要

診療科：精神科、内科、神経科、小児科、リハビリテーション科

病床数：504 床（10 病棟）

北 1 病棟：精神・認知症高齢者（閉鎖・男女混合）

北 2 病棟：精神身体合併（閉鎖・男女混合）

北 3 病棟：精神慢性期（閉鎖・男性）

北 4 病棟：精神慢性期（閉鎖・女性）

南 1 病棟：依存症治療（開放・男女混合）

南 2 病棟：児童思春期（閉鎖・男女混合）

南 3・南 4 病棟：重症心身障害児・者病棟（閉鎖・男女混合）

西 5 病棟：精神急性期（閉鎖・男女混合）

西 7 病棟：医療観察法（閉鎖・男女混合）

## リハビリテーション部門の紹介

(令和元年 8 月現在)

当院のリハビリテーション部門は精神科リハビリテーション部門と身体リハビリテーション部門に大きく分けられます。ここでは主に身体リハビリテーション部門について紹介させていただきます。

### ➤ 基本理念

私達リハビリテーション科は、個々の患者様が生活能力を回復して、新たな主体性を獲得するための総合的な支援を目的とします。そのために私達スタッフは、それぞれの専門的な技能・知能・経験を個々の患者様のために活かします。そしてリハビリテーション科としてのチームワークを大切にします。

### ➤ 基本方針

- 1) 多職種との連携を図り、包括的リハビリテーションシステムを確立します。
- 2) 急性期や難治性疾患への専門的な精神科リハビリテーションを確立します。
- 3) 精神科における専門的な身体リハビリテーションを確立します。
- 4) 精神科リハビリテーションと身体リハビリテーションの融合を目指します。
- 5) リハビリテーション科および外来デイケアにおいて、入院から外来まで一貫した、途切れないリハビリテーションサービスを提供します。
- 6) 積極的に研修生を受け入れ、充実した教育・研修の機会を提供します。
- 7) 有効かつ効率的なリハビリテーションを行い、経営改善に努めます。

### ➤ スタッフ

リハビリテーション科医長：1 名、PT：2 名、OT：14 名、ST：1 名、助手：3 名  
身体リハビリテーション部門に関わるスタッフは PT：2 名、OT：2 名、ST（1 名）

### ➤ 施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）、廃用症候群リハビリテーション料（Ⅱ）  
運動器疾患リハビリテーション料（Ⅰ）、呼吸器疾患リハビリテーション料（Ⅱ）  
障害児・者リハビリテーション料、認知症リハビリテーション料、集団コミュニケーション療法

### ➤ 主な対象疾患（身体リハビリテーション部門）

統合失調症、自閉スペクトラム症、双極性障害、うつ症候群、認知症などにより当院入院中の患者で

1. 骨折や関節疾患、脳血管疾患などの身体合併症を伴った患者。
2. イレウスや精神状態の悪化により移動能力が低下した患者。
3. 薬の副作用で移動能力が著しく低下した患者。
4. 重度心身障害児・者（動く重心） 等

➤ 特色

精神疾患がベースにありますが、実施している内容は他の身障病院と大きく変わりません。受け持ち看護師や精神科 OT、ソーシャルワーカーなど多職種と連携を密にしながら患者様の ADL 改善に関わるようにしています。

当院ならではの活動としては、認知症病棟で精神科 OT とともに訓練を実施したり、軽度認知症を対象としたショートケアで筋力トレーニングのプログラムを実施しております。

精神科 OT と協力し病棟での体力テストも実施しています。

➤ 施設内活動への参加状況

各種委員会：

管理診療会議、診療報酬対策委員会、医療安全推進担当者会議、重症心身障害病棟運営委員会、NST 委員会、精神保健福祉法および行動制限最小化委員会、褥瘡対策委員会、感染対策委員会、広報委員会、患者満足度向上委員会、生活療法・行事調整委員会、病院情報システム委員会、患者満足度向上委員会など

院内行事：肥前ふれあい健康祭り、納涼祭、芸術祭

重心病棟（バスレク、合同レク、家族レク、運動会）

➤ 研究・発表活動

国立病院総合医学会、九州重心研究会、日本認知症ケア学会、日本リハビリテーション総合医学会  
日本総合病院精神医学会など

➤ IT 環境

イントラネット配備

H27 年 5 月より電子カルテ導入（㈱NAIS）

インターネットにつながる端末がリハビリテーション科に三台配備

➤ 連休等の対応

連休中の対応は行っていない。

休暇の際は休みにするか、他の日に変更し対応しています。（毎日実施していない患者が多いため）

➤ 宿日直等の業務

なし

➤ その他

特記事項なし

文責：小田洋子



# 東佐賀病院

所在地：〒849-0101

佐賀県三養基郡みやき町大字原古賀 7324

電話：0942-94-2048



## 施設の紹介

### ● 理念・運営方針

「信頼関係を大切にし、地域に根ざした良質な医療を提供します。」

運営方針

- ① 政策医療を中心に、質の高い医療サービスの提供
- ② 患者様の視点に立った、暖かく思いやりのある接遇
- ③ 健全な経営基盤の確立
- ④ 安心して療養に専念できる快適な環境
- ⑤ 安全管理の徹底
- ⑥ 臨床教育・研修機能・情報発信の充実

### ● 施設の概要

病床数 390 床(休床 55 床)

一般病棟 (80 床)

結核病棟 (30 床)

地域包括ケア病棟 (60 床)

重度心身障害児者病棟 (165 床)

### ● 施設の特徴

1. 結核は、佐賀県における最終拠点としての役割を担っています。
2. 救急告知病院として、小児・成人の二次救急医療にも取り組んでいます。
3. 成育医療、重症心身障害の政策医療のほかに、生活習慣病（がん、糖尿病、肝臓病、循環器疾患等）の医療にも努めております。

## リハビリテーション部門の紹介（令和元年 8 月 1 日現在）

### ■ 運営目標

- ① 医療の質の向上 ② 安全な医療の提供 ③ 経営基盤の確立 ④ 地域連携の推進

### ■ スタッフ

P T（常勤）9 名（非常勤 1 名）O T（常勤）4 名 S T（常勤）2 名（うち育休 1 名）

## 施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）  
運動器疾患リハビリテーション料（Ⅰ）  
呼吸器疾患リハビリテーション料（Ⅰ）  
心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）  
廃用症候群リハビリテーション料（Ⅰ）  
障害児・者リハビリテーション料

## 週間スケジュール

火曜日：リハ科会議  
包括ケア病棟退院支援カンファレンス  
循環器リハカンファレンス  
糖尿病教室（隔週）  
呼吸器科カンファレンス  
水曜日：NST回診  
木曜日：整形回診  
金曜日：糖尿病カンファレンス・回診（隔週）

## 主な対象疾患と特色

整形外科疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、重度心身障害者（児）、その他（外科系・内科系疾患）、

## 施設内活動への参加状況

糖尿病委員会、NST委員会、セフティマネジメント会議、重心代表者会議、褥瘡委員会、みやき町民祭実行委員会、院内講演会講師 等

## 研究・発表活動

各学会発表

## IT環境

オーダーリングシステム（平成28年3月稼動、リハ科は紙運用）  
リハメイト（PC4台）  
ネット環境（PC1台）

## 連休等の対応

3連休以上の場合、スタッフの半日が半日程度、超過勤務扱いで出勤し、包括ケア病棟の患者を中心に対応・実施。

## 宿日直等の業務

なし

## その他

・地域住民や自治体向けの出張講演

文責：今村康子





独立行政法人国立病院機構  
嬉野医療センター

所在地：〒843-0393

佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿甲 4279-3

電話：0954-43-1120



## 施設の紹介

### ● 基本理念・基本方針

ひとり一人を大切に

医療は患者さんの為のものであり、安心して安全な医療の実践が必要である。

ひとり一人を大切にすることは、この医療の実践に重要である。

この「ひとり一人」は、患者さんのみならず当院に関係する全ての人たちを指し、ひとり一人が大切にされることによって、ひとり一人が周囲を大切にする。

このようにして、当院は人命を尊び人格を敬って医療に携わっていくものである。

### ● 施設の概要

全体 399 床〈395 床（一般）、4 床（感染症）〉 24 診療科目

### ● 施設の特徴

佐賀県南西部医療圏及び長崎県北東部における地域中核病院の役割を担い、高度急性期医療および質の高い専門医療を実践しており、また令和元年6月新病院移転後からは、佐賀南部医療圏では初の緩和ケア病棟を設置しました。

### ● その他

地域医療支援病院

地域がん診療連携拠点病院

日本医療機能評価機構認定取得（平成 18 年 1 月より更新中）

地域災害拠点病院

赤ちゃんにやさしい病院

地域救命救急センター指定

## リハビリテーション部門の紹介（令和元年 8 月 1 日現在）

### ■ 部門目標

1. 急性期リハビリテーションを推進する中で、地域に求められる役割を認識する。
2. 新病院での計画的かつ効率的業務体制を構築する。
3. 共通のマネジメント視点を養うことにより、業務体制の健全化を図り収益確保に繋げる

### ■ スタッフ

リハ科医長(兼任) 1 名、PT 8 名、OT5 名、ST 2 名、非常勤事務助手 1 名

### ■ 施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ） 運動器疾患リハビリテーション料（Ⅰ）  
呼吸器疾患リハビリテーション料（Ⅰ） 心大血管リハビリテーション料（Ⅰ）  
がん患者リハビリテーション料

### ■ 週間スケジュール

毎 日： 8：30～ミーティング  
毎 日：10：30～ 救命病棟カンファレンス  
月曜日：神経内科カンファレンス（OT、ST 参加）  
火曜日：脳外科カンファレンス（OT、ST 参加）  
：心不全カンファレンス（心リハ専任セラピスト参加）  
水曜日：整形外科カンファレンス、回診（PT 参加）  
金曜日：呼吸器科カンファレンス（PT 参加）

### ■ 主な対象疾患と特色

脳血管疾患：脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、脳腫瘍 等  
運動器疾患：外傷性疾患、人工関節 等  
呼吸器疾患：肺炎、COPD、胸部外科手術後 等  
心大血管疾患：狭心症、弁膜症術以後 等  
がん患者全般

### ■ 施設内活動への参加状況

管理診療会議、月次評価決算会議、広報誌編集委員会、褥創委員会、糖尿病運営委員会（糖尿病教室）、NST 会議、医療サービス向上委員会、診療録管理委員会、ICT 委員会、リスクマネジメント部会、クリティカルパス委員会、緩和ケア委員会、情報システム委員会、RRS 委員会 等

### ■ 研究・発表活動

総合医学会、日本医療マネジメント学会 等 多数

### ■ IT 環境

電子カルテ（e-カルテソフトウェア・サービスの新版 e-カルテ&NEWTONS2） ネット環境有り

### ■ 連休等の対応

年末年始・ゴールデンウィーク等は、完全休日が 3 日以上にならないように 2 名体制で休日体制を組んでいる。土曜日勤務も交代制であり

### ■ 宿日直等の業務

なし

文責：岡村武



## 施設の紹介

### ❀ 基本理念

「地域になくてはならない病院として質の高い、あたたかい医療の提供をめざす」

#### 運営方針

1. 患者さんの立場に立った心温かな病院をめざす。
2. 地域に信頼される連携医療を展開する。
3. 専門的な重症心身障害医療療育を提供し、セーフティネットとしての役割を果たす。
4. 安全で質の高い医療を提供する。
5. 全職域で、教育・研修・研究の充実を図る。
6. 上記5項目を実現し継続するための健全な病院経営を行う。

#### 2019年度病院目標

「良質なあたたかい医療を提供し、信頼される病院をめざす」

##### 【ミッション】

- ・地域に信頼される連携医療の展開
- ・頼れる重症児者医療の展開
- ・地域への医療情報の発信・啓蒙
- ・安定した経営維持（入院患者の確保）
- ・予防医療の展開

### 🌿 施設の概要

病床数 280 床（一般 200 床、重症心身障害児（者）80 床）

#### 施設の特徴

急性期病院では担えない、4つの領域を中心とした医療を展開しています。

1. 急性期病院で初期治療を受けられた方を受け入れ、きちんと在宅、後方へつなぐ医療を行っています。

□ 地域包括ケア病棟（45 床）

2. 脊損、神経難病の方の社会復帰とレスパイトにも対応します。

□ 障害者医療（慢性期リハ、生活リハ）

3. 重症心身障害児（者）の方々の医療と療育を担っています。

4. 発達障がい、小児心身症にも取り組んでいます。

その他、終末期医療にも関わっています。

## その他

## リハビリテーション部門の紹介（2019 年 8 月 1 日現在）

### 理念

#### 2019 年度リハビリテーション科目標

1. 温故知新の発想

病院の歴史をたどり、現状にマッチングさせる。

2. ボトムアップの意識を持ち、現状をよりよいものに変化させる。

建設的発想から、リハ科の組織力を高める。

3. 病や障がいを持つ患者様やご家族の気持ちを理解し、

患者様が満足に至る質の高いリハビリテーション医療の啓発活動に努める。

4. 経営改善の意識を持ち、効率的に業務を展開する。

### スタッフ

リハ医（専任）0 名

P T（常勤）10 名、O T（常勤）6 名、（非常勤）1 名、S T（常勤）1 名、

リハ科助手（非常勤）1 名

### 施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）

廃用症候群リハビリテーション料（Ⅰ）

運動器リハビリテーション料（Ⅰ）

呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）

がん患者リハビリテーション料

障害児（者）リハビリテーション料

### 週間スケジュール

月・水・金 8：15～ 医局ミーティング（士長が出席）

月～金 8：30～ 朝ミーティング

木曜日 16：45～ リハ科ミーティング

火曜日 16：45～ 部門代表者（士長・主任等）ミーティング

月・木 13：15～ 患者支援カンファレンス（整形外科以外）

火曜日 13：30～ 整形外科カンファレンス、回診

水曜日 13：00～ 発達療育外来カンファレンス

木曜日 15：30～ NST 回診  
水曜日 13：00～ 緩和ケアカンファレンス  
月曜日 16：30～ リハカンファレンス（1 回／月）  
第 3・第 4 月曜日 14:00～ 重心病棟ケースカンファレンス  
第 3 月曜日 15:00～ 重心病棟療育会議 その他特別支援学校との連絡会など

### 主な対象疾患と特色

- \* 整形外科疾患（急性期から回復期）
- \* 重度障害者や重複障害者、回復期リハ病棟からの転院など
- \* 神経難病
- \* 脳血管障害
- \* 緩和ケア
- \* 重症心身障害
- \* 発達障害

当院は、地域包括ケア病棟（45 床）があり、回復期リハ病棟の適応が困難な症例を対象に、在宅復帰を目指したリハビリテーションを実施しています。また緩和ケアにも、チームスタッフとして参加しています。加えて、在宅復帰が困難な重症例には、買い物や自宅訪問などの外出支援を積極的に行っています。

### 施設内活動への参加状況

クリティカルパス委員会  
NST 委員会：週 1 回の回診に ST、PT が参加  
緩和ケア委員会：週 1 回の回診にリハスタッフが参加  
褥瘡対策委員会：会議にリハスタッフが参加  
ICT 委員会：会議にリハスタッフが参加

### 研究・発表活動

総合医学会、各種学会にて発表実績あり

### IT 環境

電子カルテ：ソフトウェアサービス製「e-カルテ Newtons2」  
院内 LAN：サイボウズ Office10

### 連休等の対応

年末年始や GW, SW 等の長期休暇及び 3 連休以上の休みでは、地域包括ケア病棟の入院患者様を中心に最低 3 日に 1 回の頻度でリハを実施しています。

### 宿日直等の業務

なし

### その他

文責：藤崎暢





独立行政法人  
国立病院機構 長崎医療センター



高い水準の知識と技術を培い  
患者さんひとり一人の人格を尊重し  
高度医療の提供を目指します

〒856-8562 長崎県大村市久原 2-1001-1 電話：0957-52-3121 (代)

## 施設の紹介

### ● 理念

高い水準の知識と技術を培い さわやかな笑顔と真心で 患者さん一人一人の人格を尊重し  
高度医療の提供を目指す

### ● 長崎医療センターの使命

長崎医療センターは以下の活動を誠実に行之、地域拠点病院として住民の皆さんと医療機関からの信頼を得ることを使命としています。

- 1、安全で質の高い医療を提供する
- 2、絶対に断らない救急医療の最後の砦となる気概をもつ
- 3、地域の医療機関、行政と密接に連携する
- 4、すべての医療人と学生に魅力的な教育研修を提供する
- 5、臨床研究を推進し、国際医療協力に貢献する

### ● 施設の概要 (令和元年 8 月 1 日現在)

標榜診療科：36 科 入院病床数：643、床(一般 610 床、精神 33 床)、

### ● 主たる機能

高度総合医療施設、臨床研究センター、救命救急センター、災害拠点病院、へき地中核親元病院、総合周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、高度専門医療施設(肝疾患)、長崎県肝疾患診療連携拠点病院、エイズ拠点病院、地域医療支援病院、腎臓移植推進協力病院、臨床研修指定病院、臨床修練指定病院、地域医療研修センター、理学療法施設

### ● その他

日本医療機能評価機構認定病院(認定有効期限：2020 年 4 月 24 日)

卒後臨床研修評価機構認定病院(認定有効期限：2017 年 4 月 30 日)

## リハビリテーション部門の紹介 (令和元年 8 月 1 日現在)

### ■ 基本理念

1. 個別性を重視したリハビリテーションの提供
2. 安全管理の徹底
3. 多部門との連携の強化
4. 早期リハビリテーションの充実

#### ■ スタッフ

リハ科医師 6 名、理学療法士 12 名、作業療法士 4 名、言語聴覚士 2 名、クラーク 1 名

#### ■ 施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）

廃用症候群リハビリテーション料（Ⅰ）

運動器リハビリテーション料（Ⅰ）

呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）

心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）

がん患者リハビリテーション料

#### ■ 週間スケジュール

毎月曜日 脳(新患)カンファレンス、心リハカンファレンス、緩和ケアカンファレンス、

毎火曜日 脳(新患)カンファレンス、整形外科カンファレンス・回診、R S T ラウンド・カンファレンス、脳神経疾患カンファレンス、血液内科カンファレンス、I C T 会議、医療安全部会議

毎水曜日 脳(新患)カンファレンス、救命病棟リハカンファレンス、整形病棟カンファレンス

毎木曜日 脳外科病棟カンファレンス、N S T ラウンド

毎金曜日 脳(新患)カンファレンス、糖尿病教室（運動療法）、呼吸器外科カンファレンス、総合診療カンファレンス

#### ■ 主な対象疾患

整形外科、脳神経外科、総合診療科、神経内科からの処方が多い。

#### ■ 施設内活動への参加状況

医療安全部会、医療安全管理委員会、医療安全推進担当者会議、クリティカルパス委員会、N S T 委員会、リハビリ運営委員会、感染リンクスタッフ委員会、患者サービス向上委員会、QC 活動、口腔内ケアワーキンググループ、がんサージカルボード（第 4 月曜日）

#### ■ 研究・発表活動

総合医学会、医療マネジメント学会、合同研修会 等

#### ■ IT 環境

電子カルテ FUJITSU HOPE/EGMAIN-GX

#### ■ 連休等の対応

日曜日を除くリハビリテーション実施体制

#### ■ 宿日直等の業務

なし

#### ■ その他

臨床実習受け入れ、月 1 リハ科勉強会、院内呼吸器看護コース講師、特定技能施設派遣研修講師  
院外勉強会講師、痰の吸引研修 等

文責：中川真吾





所在地：〒859-3615

長崎県東彼杵郡川棚町下組郷 2005 番地 1

電 話：0956-82-3121

## 施設の紹介

### ● 理念・基本方針

- ・ 理念：『さわやかな笑顔と思いやりの心で、安心、安全な満足される医療をめざします』
- ・ 基本方針
  1. 養気軒の精神で、全人的医療を行います。
  2. 質の高い、安心、安全な医療を提供し地域の皆さんから信頼を得る。
  3. 『地域との連携』『病院職員間の融和』のもとに医療連携、チーム医療を推進する。
  4. 職員にとって働きやすい職場環境を整備する。
  5. 健全な経営のため努力する。

### ● 施設の概要

- ① 救急医療・地域医療連携の推進    ② 臨床研究・臨床治験    ⑥ 訪問看護ステーション

### ● 施設の特徴

- ① 病院情報システム（電子カルテ）を用いた医療    ② 地域医療（地域包括ケア病棟）  
③ 臨床研究の推進    ④ 教育・研究（学会認定施設他）

### ● その他

- ・ 地域医療支援病院    ・ 開放型病院

## リハビリテーション科の紹介（令和元年8月1日現在）

### ■ 理念

《リハ科理念》

地域に根付き、家庭・社会への復帰を目指した総合的なリハビリテーションの提供をめざします。

《リハ科運営目標》

- ・ 患者さんの尊厳を重視し、プライバシーを守ります。
- ・ 患者さんの自立支援・生活の質（QOL）の向上を最大限に図ります。
- ・ 「急性期から在宅まで」維持したリハビリテーションサービスを提供します。
- ・ 地域住民の健康維持、増進のために貢献します。
- ・ 自己研鑽に励み、働きがいのある職場作りに努めます。

《目標》

- 1) 休日リハビリテーションの継続（土曜リハ・大型連休時）

- 2) 包括ケア病棟のリハビリ基準達成
- 3) 訪問リハビリテーションの継続
- 4) がんリハビリテーション研修への参加継続
- 5) 診療報酬適正化・実績の向上を図る
- 6) 学会への積極的な参加・発表
- 7) 他部門との連携強化
- 8) 養成校学生の受け入れ継続

#### ■ スタッフ

リハ科医長(兼任)：1名     PT(常勤)11名(育休・産休2名、病休1名、代替1名)：計9名  
OT(常勤)：4名     ST(常勤)：3名

#### ■ 施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)     廃用症候群リハビリテーション料(Ⅰ)  
運動器疾患リハビリテーション料(Ⅰ)     呼吸器疾患リハビリテーション料(Ⅰ)  
がん患者リハビリテーション料

#### ■ 週間スケジュール

- ・脳神経外科カンファレンス(金曜8:00～)     ・神経内科病棟カンファレンス(木曜15:00～)
- ・整形外科・包括病棟カンファレンス(水曜8:40～)     ・脳卒中カンファ(水曜13:00～)
- ・神経難病病棟カンファレンス(木曜日8:40～)     ・嚥下カンファ(水曜日)

#### ■ 主な対象疾患と特色

対象疾患：神経・筋疾患、整形疾患、脳卒中、呼吸器疾患、外科術前後、脳外科術前後

特色：神経筋疾患の基幹施設であるため、治療・検査・レスパイト目的に入院された難病患者的のリハビリを実施している。また、脳卒中・整形外科疾患等、早期リハビリを実施している。

また、外科・脳外科の術前術後、がんリハ、神経・筋疾患患者へ呼吸リハにも取り組んでいる。  
さらに摂食・嚥下障害に対する嚥下リハビリテーションや、神経筋疾患患者への意思伝達装置の導入やスイッチの改良も積極的に行っている。2015.8より地域包括ケア病棟のリハビリテーション、2016.6より訪問リハビリテーションを平日午後から実施している。

#### ■ 施設内活動への参加状況

管理診療会議、病床管理会議、月次評価会議、リハビリ運営会議、管理者会議、病床管理会議  
院内感染予防委員会、診療録委員会、広報・HP誌委員会、働き方改革委員会、ボランティア委員会、NST委員会、脳卒中ワーキンググループ、緩和ケア委員会、ICT部会、医療安全推進部会  
医療安全部会、褥瘡カンファレンス、糖尿病教室、認知症カフェなど

#### ■ 研究・発表活動

学会や臨床研究は各自が設定     その他、地域・神経難病研修・院内での講演を年数回実施  
科内勉強会(月1回)

#### ■ IT環境

主に電子カルテ(富士通)     サインが必要な書類等のみ紙運用しスキャナで保存

#### ■ 連休等の対応

土曜日は二人体制で出勤     長期連休は交代で出勤(連日ではない)

文責：野崎貞徳

# 国立病院機構熊本医療センター (前 国立熊本病院)



所在地：〒860-0008

熊本市中央区二の丸1番5号

電話：096-353-6501

## 施設の紹介

### ● 基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、  
良質で安全な医療を目指します。

### 運営方針

1. 良質で安全な医療の提供
2. 政策医療の推進
3. 医療連携と救急医療の推進
4. 教育・研修・臨床研究の推進
5. 国際医療協力の推進
6. 健全経営

### ● 施設の概要

標榜診療科数 32、医療法承認病床数 550 床（一般病床 500 床、精神病床 50 床）

### ● 施設の特徴

各診療科の連携を密にし総合的な診療に努め、骨・運動器疾患、脳神経疾患、がん、循環器、内分泌・代謝、感覚器、精神疾患、及び救命救急医療に力を入れています。特に骨髄移植や血管新生療法をはじめとする高度先進医療に取り組み、県外からの受診者も多く広域にわたっています。

また、DPCⅡ期で完遂するクリティカルパスを積極的に導入して、医療技術の標準化と質の向上に努めています。そのツールを用いて地域の中核開放型病院、地域医療支援病院として連絡会議と“くまびょう NEWS”の発行を行い、地元医師会と地域の医療機関との医療連携を推進しています。更に、防災ヘリコプターの基幹施設としてドクターヘリとの熊本型ヘリ搬送体制を担い、「24 時間 365 日、断らない救急医療」に取り組んでいます。

### ● その他

国際医療協力基幹施設、長寿医療基幹施設、開放型病院、地域医療支援病院、  
地域がん支援連携拠点病院 災害拠点病院（地域災害医療センター）

## リハビリテーション部門の紹介（令和元年8月1日現在）

### ■ 理念

1. 病棟リハビリテーションの充実
2. 患者様の ADL 向上
3. リハビリテーション科からの情報発信



## ■ スタッフ

リハ医（兼任）2名、PT 8名、OT 2名、ST 2名

## ■ 施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）

廃用症候群リハビリテーション料（Ⅱ）

運動器疾患リハビリテーション料（Ⅰ）

呼吸器疾患リハビリテーション料（Ⅰ）

がん患者リハビリテーション料

## ■ 週間スケジュール

火曜日 RST ラウンド、摂食・嚥下ラウンド

水曜日 クリティカルパス検討委員会

木曜日 整形外科病棟回診（早出勤務 7:45～16:30、PT 3名、OT 1名）

金曜日 整形外科症例検討会（早出勤務 7:45～16:30、PT 3名、OT 1名）

その他 各病棟カンファ（週 1 回 14 病棟のカンファレンスに参加）

## ■ 主な対象疾患と特色

急性期リハビリを中心に実施しており、疾患対象の割合は、整形外科疾患：約 60%、脳血管疾患：約 30%、心臓外科・その他：約 10%です。当院には、急性期精神科病棟があり、精神科疾患を合併した症例もリハビリ実施を実施しています。

また、大腿骨頸部骨折は 15 施設とは電子版地域連携クリティカルパス、48 施設と紙運用での地域連携クリティカルパスが存在します。

## ■ 施設内活動への参加状況

管理診療会議、クリティカルパス検討委員会、リスクマネジメント部会、病院情報システム委員会、院内感染対策委員会、緩和ケア部会、がん拠点病院運営委員会、入院支援室運営委員会  
禁煙対策委員会

## ■ 研究・発表活動

学会・研究会への発表（参加費、交通費、宿泊費支給あり）

## ■ IT 環境

電子カルテ

## ■ 連休等の対応

土曜日診療：PT 1 名勤務（脳卒中新規処方、整形外科術後 POD1 クリティカルパス）

年末年始、大型連休：出勤あり（PT 2 名、OT 1 名、ST 1 名）

## ■ 宿日直等の業務

なし

## ■ その他

1. 専門・認定資格受講費用支給制度有り（医療の質改善を促進するための個人の教育を充実）
2. 平成 31 年 1 月 4 日、病院機能評価一般病院 2<3rdG:Ver. 2.0>と付加機能の救急医療機能 Ver2.0 の更新を受けました→[平成 30 年度入院患者満足度調査リハ部門第 1 位（500 床以上の 12 施設）](#)
3. 病院増改修整備工事終了後（令和 2 年 3 月）、脳血管リハビリテーション施設基準Ⅰへの格上げと、心大血管リハビリテーション施設基準Ⅰの取得予定

文責：田中正則



# 独立行政法人国立病院機構 熊本南病院

所在地：〒869-0593

熊本県宇城市松橋町豊福 2338 番地

電 話：0964-32-0826

F A X：0964-33-3207



## 施設の紹介

### ● 理念・基本方針

熊本南病院は、地域に密着した優しく思いやりのある医療をめざします。

- (1) 患者さまの人権と意志を尊重した医療に努めます。
- (2) 地域医療機関と連携し、安全かつ安心な医療で地域の信頼に応えます。
- (3) 医療の進歩に対応して日々研鑽し、質の高い医療を提供します。

### ● 施設の概要

医療法承認病床数

総数 172床（一般 150床、結核 22床）

**診療科** 内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、糖尿病内科、代謝・内分泌内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、肝臓・胆のう・膵臓外科、リウマチ科、リハビリテーション科、放射線科、総合診療科

### ● 施設の特徴

- ◇呼吸器（結核、がんを含めた）の専門的医療を提供します。
- ◇神経・筋疾患の専門的医療を提供します。
- ◇地域基幹病院として、救急医療を含めた消化器・生活習慣病・循環器疾患、がん診断治療など一般医療の充実に努めます。

### ● その他

- ◇開放型病院
- ◇熊本県の神経難病の拠点施設（平成22年4月1日より）
  - 神経難病センター開設（平成22年7月）
  - 呼吸器疾患センター開設（平成23年5月）
  - 地域包括ケア病床（14床）運用開始（平成26年12月）（H28年4月より10床へ変更）
  - 緩和ケア病棟（16床）開設（平成28年5月）
  - 療養介護病床（26床）開設（平成28年6月）

## リハビリテーション部門の紹介（令和元年8月1日現在）

### 理念

患者様及び地域の医療機関のニーズに対応し質が高く、やさしい医療を提供する。

### 目標

- I. 病院経営基盤の安定化への参画
  - ① 診療点数の安定化
  - ② 包括ケア病床の維持
  - ③ 経費の削減
- II. 医療の質と安全の向上
  - ① 安全で安心できる適正なリハビリテーションの提供
  - ② リハビリテーションの質の向上
  - ③ 3部門それぞれの専門性を活かした院内での取り組みへの創造
  - ④ 多職種との連携
- III. その他
  - ① 地域医療を意識したリハビリテーションの展開
  - ② 緩和ケア病棟、療養介護病床に対する安定した関わりの検討
  - ③ 適正な業務量に向けた業務調整の推進

### スタッフ

リハビリテーション科医長（併任） 1名、  
副理学療法士長 1名  
運動療法主任 1名  
理学療法士 2名  
作業療法士 3名（過員あり。定数2）  
言語聴覚士 1名

### 施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）  
廃用症候群リハビリテーション料（Ⅱ）  
運動器疾患リハビリテーション料（Ⅰ）  
呼吸器疾患リハビリテーション料（Ⅰ）  
がんリハビリテーション

### 週間スケジュール

各病棟（4病棟）カンファレンス、カンサーボード（1回/週）  
リハビリテーション科会議（1回/月）、リハビリテーション科内勉強会（1回/月）

### 主な対象疾患と特色

神経筋疾患、呼吸器疾患、外科疾患、がん患者、廃用症候群患者



#### 施設内活動への参加状況

管理診療会議、診療録等管理委員会、院内感染予防対策委員会、経営部会、経営改善委員会、リスクマネジメント部会、クリティカルパス部会、NST 委員会、褥瘡対策委員会、サービス広報部会、療養サービス部会 以上 （1 回/月）、

#### 研究・発表活動

決定事項なし

#### IT 環境

電子カルテ、リハビリ部門システム（ソフトマックス社）

リハビリテーション科内にインターネット環境あり

#### 連休等の対応

3 日以上の連休時は 2 名体制で対応

#### 宿日直等の業務

なし

#### その他

地域ケア連携研修会の講師 出張健康教室講師 院内勉強会の講師

熊本南病院「健康かがやき祭」に参加（1 回/年 全員）

文責：村上寿一





所在地：〒861-1116 熊本県合志市福原 208

電 話：096-248-2111 F A X：096-248-4559

## 施設の紹介

### ● 基本理念 『MENTAL』

#### ●Mental Care

人権を尊重し、患者さんが安心し、納得する精神医療・ケアを提供する

#### ●EBM

説得力のある最新の医学的根拠に基づいた治療を目指す

#### ●National Polisy

政策医療を中心に高度の医療サービスを提供する

#### ●Teaching

高度・先駆的な精神医療を模索し、研究・教育・研修に力を入れる

#### ●Amenity

自然に囲まれた落ち着いたアメニティーを提供する

#### ●Local Network

地域の医療機関と協力して心の健康作りをめざす

### ● 施設の概要

病床数：218 床 一般精神：53 床 認知症治療病棟 60 床

重症心身障害児者病棟 80 床 医療観察法治療病棟 25 床

### ● 施設の特徴

本院は、脳の器質性疾患の医療を主とするという要請に沿って、一般精神科医療の他、認知症疾患を含めた老年期精神障害の医療、動く重症心身障害児（者）の療育などに取り組んできました。特に、老年期認知症の医療・看護に関しては、昭和62年から厚生労働省認知症高齢者対策研修の西日本モデル施設に指定され、診療・研究及び研修事業を行っております。

さらに、ライフサイクルの中の重要な時期である老年期と児童・思春期の精神障害の医療にも取り組んでおります。また、当院は国が政策的に推進する必要のある高度先駆的な医療、国が担うべき医療いわゆる政策医療の中で、「精神及び重症心身障害」の専門医療施設として位置づけられております。

## リハビリテーション部門の紹介

### ■ 平成 31(令和 1)年度リハビリテーション科目標

#### ●安全・安心なリハビリテーションを提供する

患者本人、そして本人を取り巻く治療環境の安全の再確認

#### ●多職種と連携し、自己研鑽をし、情報発信をする

### ■ スタッフ（令和元年 8 月 1 日現在）

診療部長（常勤）1 名、OT（常勤）7 名【内育休 1 名】・（非常勤）1 名、  
OT 助手（非常勤）2 名、PT（常勤）1 名

### ■ 施設基準

障害児（者）リハビリテーション料

運動器疾患リハビリテーション料（Ⅲ）

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅲ）

廃用症候群リハビリテーション料（Ⅲ）

呼吸器リハビリテーション料（Ⅱ）

### ■ 週間スケジュール

毎日 8:30～ ミーティング

毎週水曜日 8:30～ / 毎週金曜日 15:30～ リハビリテーション会議

毎月第 3 金曜日 15:30～リハ科勉強会（PT、OT、OT 助手）

### ■ 主な対象疾患と特色

重症心身障害児（者）が中心です。H29 年度より理学療法開設となり、全国でも数少ない強度行動障害のある重症心身障害児（者）に対しての身体リハビリテーションが開始されました。

H30 年度からは新たに脳血管・廃用症候群・呼吸器リハビリテーション料の施設基準を取得し、身体合併症を有した認知症、精神疾患患者への身体リハビリテーションも開始しました。

### ■ 会議・委員会への参加状況（PT 参加のもののみ記載）

リハビリテーション委員会、診療録管理委員会、クリティカルパス委員会

療育連絡会議、療養介助等運営委員会、病棟会議(MDT 会議)・カンファレンス等

### ■ IT 環境

令和元年 8 月現在電子カルテは導入されていません。院内 LAN はあります。業務に必要な評価や報告書は、リハ科内データベースで管理を行っています。

### ■ 連休等の対応

連休等の対応は特にありません。

### ■ 宿日直等の業務

なし

文責：橋本繁和



独立行政法人国立病院機構

熊本再春医療センター

Kumamoto Saishun Medical Center

〒861-1196 熊本県合志市須屋2659 TEL.096-242-1000 FAX.096-242-2619

## 施設の紹介

### ● 理念

わたしたちは、患者さまひとりひとりの人権を尊重し、思いやりの心を持って安心と信頼の医療を提供します。

### ● 基本方針

1. 患者さま中心の医療
2. 専門知識及び技術の向上
3. チーム医療の推進
4. 地域医療連携の推進と地域への貢献
5. 経営基盤の安定



新本館棟平成 31 年 9 月オープン

### ● 施設の概要

病床数：513 床（政策医療病床 160 床を含む）

平成 28 年 11 月：地域包括ケア病棟

平成 31 年 4 月：「独立行政法人国立病院機構 熊本再春荘病院」から「独立行政法人国立病院機構 熊本再春医療センター」と名称を改める。

### ● 病院概要

○環境 熊本市の北方 12 k m、霊峰阿蘇の西麓・黒石原の中央（海拔 82.5m）に位置しています。

○政策医療 国立病院機構ネットワークの一員として 4 つの政策医療（神経筋疾患、重心、成育、骨・運動器疾患）の「専門医療施設」として指定されています。

○神経筋疾患 ○重症心身障害 ○成育医療 ○骨・運動器疾患

○その他（呼吸器センターの開設 地域医療連携の促進） ○日本医療機能評価機構認定病院

### ● 標榜診療科

呼吸器内科 腫瘍内科 感染症内科 脳神経内科 消化器内科 循環器内科 代謝内科  
リウマチ科 小児科 外科 整形外科 リハビリ科 放射線科 麻酔科 病理診断科 呼吸器外科

## リハビリテーション部門の紹介（令和元年 8 月 1 日現在）

### ■ 理念

<基本理念>

一人一人の患者様の QOL が向上し、その人らしく家庭や地域社会及び職場に再び参画できるよう、質の高いリハビリテーション医療を提供します。

<基本方針>

1. 十分な説明とパートナーシップのもとに患者様の自己決定を尊重します。
2. 専門職としての質の高い知識と技術を提供し、患者様の自立を支援します。
3. 他職種とのチーム医療を推進します。

## ■ スタッフ

リハ医長（兼任）1名、

PT：16名（熊本市民病院より研修2名含む）、OT：5名、ST：2名、クラーク1名

## ■ 施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）

障害児（者）リハビリテーション料

運動器疾患リハビリテーション料（Ⅰ）

がん患者リハビリテーション料

呼吸器疾患リハビリテーション料（Ⅰ）

心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）

## ■ 週間スケジュール

### 【業務運営関連】

毎日8：30～リハ科朝礼、月1回リハ科会議、年2回リハ運営委員会

### 【カンファレンス・回診】

整形外科 火15：00～15：30、神経内科 火16：30～17：15、呼吸器科 木15：00～16：00、

代謝内科 火14：30～15：00、外科 水13：15～13：45

筋ジス 月15：30～16：00、小児科 月13：00～13：30

### 【身障手帳等作成のための身体計測】

金 11：00～12：00（予約制）

## ■ 主な対象疾患と特色

【脳血管疾患等】 パーキンソン病、ALS等神経難病、脳脳血管疾患

【運動器】 四肢骨折に対する骨接合術、変形性関節症等に対する人工関節置換術、  
肩腱板損傷に対する修復術

【呼吸器】 COPD等呼吸器疾患

【循環器】 心不全、心筋梗塞

【障害者】 重心、筋ジス、神経難病（長期入院患者）

【がん患者】 肺癌、消化器癌

## ■ 施設内活動への参加状況

管理診療会議、医療安全管理部会、医療サービス向上推進委員会、院内感染防止対策小委員会、  
NST委員会、摂食・嚥下機能向上委員会、クリティカルパス小委員会、健康フェスタ実行委員会、  
糖尿病教室、RST 等

## ■ 研究・発表活動

整形疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、神経難病、筋ジス、重心等に関する研究を実施

## ■ IT環境

電子カルテ（富士通）、院内LAN有、インターネット利用可、E-mail利用 可

## ■ 連休等の対応

土・日曜：発症及び術後の急性期患者様を対象に実施 祝日：休み

GW、年末・年始：休日日数により適宜対応（土・日曜リハに準じて実施）

## ■ 宿日直等の業務

なし

文責：坂本浩樹





独立行政法人 国立病院機構

# 大分医療センター

所在地：〒870-0263

大分県大分市横田二丁目 11 番 45 号

電話：097-593-1111



## 施設の紹介

### ● 理念・基本方針

最新の医療技術・知識の習得に励み

病める人の立場に立ち

人の尊厳・権利を尊重し

「愛の心・手」で最良の医療サービスを提供します

### ● 施設の概要

病床数 300 床

### ● 施設の特徴

平成 11 年、国が指定した政策医療のうち、がん、肝疾患の専門医療施設およびエイズ拠点病院に位置付けられています。

がん診療に関しては、従来より消化器科、呼吸器科、外科、呼吸器外科、婦人科、泌尿器科、放射線科を中心に集学的医療に取り組んでおり、肝がんを含めた肝疾患においても地域の信頼を得ているところです。また、循環器科、整形外科、内分泌内科も地域の要望に応え、力を注いでいます。更に、各科に亘るクリティカルパスを使用した日帰り手術も実施しています。

### ● その他

## リハビリテーション部門の紹介（令和元年 8 月 1 日現在）

### ■ 理念

患者様が安全でかつ毎日の生活を生き生きと暮らせるようにあらゆる方向から総合的に援助します。

### ■ スタッフ

リハ医（整形外科医と兼任）1 名、PT（常勤）8 名、OT（常勤）3 名、ST（常勤）1 名、非常勤職員（助手）1 名

## ■ 施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）、廃用症候群リハビリテーション料（Ⅰ）、運動器リハビリテーション料（Ⅰ）、呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）、心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）、がん患者リハビリテーション料

## ■ 週間スケジュール

月曜日：13：30～循環器カンファレンス、14：00～1 階病棟カンファ

15：00～ 5 階病棟退院調整カンファ

水曜日：8：15～心リハカンファ、13：45～ 外科カンファ、14：00～2 階病棟カンファ

15：00～ 4 階病棟カンファ

木曜日：13：00～整形カンファ 14：00～2 階病棟退院調整カンファ

その他退院支援等カンファレンス（随時、必要時出席）

## ■ 主な対象疾患と特色

整形外科が中心であるが、呼吸器、循環器や外科・泌尿器科それぞれの術後にも対応している。

## ■ 施設内活動への参加状況

管理診療会議・院内感染対策委員会・医療サービス向上推進委員会・外来運営委員会・病院情報システム委員会・防災対策部会・省エネ対策検討会・クリティカルパス委員会・がん診療連携協力病院委員会・病床管理委員会・研修委員会・医療安全カンファレンス・・・以上、職場長出席

褥瘡対策委員会・ICT委員会・医療安全推進部会・NST委員会・緩和ケア委員会・・・各担当者出席

その他、院内ラウンド（月 1 回）、NSTラウンド（週 1 回）、緩和ラウンド（週 1 回）、褥瘡ラウンド（週 1 回）、排尿ラウンド（隔週 1 回）、ICTラウンド（年数回）

糖尿病教室（隔週木曜日）、院内勉強会講師（年数回）

## ■ 研究・発表活動

学会、研究会での発表

## ■ IT 環境

電子カルテ（富士通）、部門システムなし

## ■ 連休等の対応

・土、日曜日は整形外科、外科術後患者を対象に半日勤務（交代制）

三連休は祝日にあたる日に実施

・年末年始、ゴールデンウィーク期間中も実施

## ■ 宿日直等の業務

なし

## ■ その他

地域包括ケア病棟 H29 年 12 月より開始

文責：富永 了





## 施設の紹介

### 🌸 理念・基本方針

基本理念 急性期医療の地域中核拠点として最善の医療を行う

- 運営方針
- 1、病病・病診連携の強化
  - 2、がん診療の充実・強化
  - 3、教育・研修体制の充実
  - 4、経営基盤の向上
  - 5、臨床研究の推進

### 🌿 施設の概要

31 診療科。医療法病床数

500 床（一般 460 床、精神 40 床）

### 🌺 施設の特徴

政策医療の中でも「がん」「成育医療」「骨・運動器疾患」「免疫異常」および「精神医療」の専門医療を担っています。特に「がん」に対しては、放射線治療施設を有し、外科的治療、化学療法、放射線治療を組み合わせ、患者様に最適の集学的治療を行っています。

### 🌻 その他

地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター、地域小児科センター、大分 DMAT (災害派遣医療チーム)

## リハビリテーション部門の紹介（令和元年8月1日現在）

### ■ 理念

リハビリは皆様が主役です。私達は皆様の心を大切に、人間性豊かな医療人としての自覚を持ち、皆様と共に一日も早い回復の実現に向けてスタッフ一同努力します。

### ■ スタッフ

リハ科医長1名

P T 8名、O T 5名（内、精神科デイケア担当1名）、S T 2名、

マッサージ師1名、非常勤助手4名

### ■ 施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料

運動器疾患リハビリテーション料

呼吸器疾患リハビリテーション料

心大血管リハビリテーション料

がん患者リハビリテーション料

廃用症候群リハビリテーション料

精神科デイケア

特定集中治療室管理料に掲げる早期離床・リハビリテーション加算

### ■ 週間スケジュール

毎 朝：朝礼、I C U早期離床・リハチームカンファレンス

月曜日：心リハカンファレンス、褥瘡カンファ・ラウンド、緩和ケアカンファレンス、

火曜日：心リハカンファレンス、呼吸器内科カンファレンス、

水曜日：整形外科回診、外科（消化器、呼吸、乳腺）カンファレンス

N S Tカンファレンス、緩和ケア委員会、血液内科カンファ

木曜日：精神科デイケアカンファレンス、精神科カンファレンス、I C Tカンファレンス、

排尿ケアチームラウンド

金曜日：脳神経内科カンファレンス、脳外科カンファレンス、呼吸ケアチームラウンド、

### ■ 主な対象疾患と特色

#### ●整形外科疾患

骨折（大腿骨頸部骨折、脊椎圧迫骨折、橈骨遠位端骨折等）、変形性関節症（膝関節、股関節等）、膝前十字靱帯損傷、膝半月板損傷、脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニア、腱板断裂。

自己免疫疾患（リウマチ・膠原病等）など。

#### ●脳血管障害

脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、脳外傷・神経疾患（パーキンソン病、脊髄小脳変性症等）など

#### ●呼吸器疾患

急性発症の肺炎、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、気管支喘息、間質性肺炎、肺線維症、慢性呼吸不全、肺癌切除術後、など

●心大血管疾患

急性および陳旧性心筋梗塞、狭心症、慢性心不全、心臓外科手術（冠動脈バイパス術、弁置換および弁形成術）、閉塞性動脈硬化症など

■施設内活動への参加状況

① 管理診療会議 ②月次評価会 ③セーフティマネジメント部会議 ④クリティカルパス推進委員会 ⑤呼吸ケアチーム ⑥排尿ケアチーム ⑦NST委員会 ⑧褥瘡対策委員会 ⑨ICT 委員会 ⑩糖尿病教室講師派遣 ⑪腎臓病教室 ⑫緩和ケア委員会 ⑬電子カルテ委員会 ⑭患者サービス向上推進委員会 ⑮広報委員会 ⑯病棟勉強会講師派遣 ⑰TQM活動 ⑱看護学校講義 等

■IT環境

電子カルテシステム稼働（FUJITSU）、部門システム（リハッシュ）、hospnet 端末

■連休等の対応

3連休以上の連休時（ゴールデンウィーク、年末年始含む）に、PT・OT・STが出勤し訓練の切れ目を最低限にする。

■宿日直等の業務

なし

■その他

なし

文責：広田美江



独立行政法人国立病院機構  
**西別府病院**  
Nishibeppu National Hospital

所在地：〒874-0840

大分県別府市大字鶴見 4548

電話：0977-24-1221



## 施設の紹介

### ● 理念・基本方針

私たちは常に研鑽し患者さまのために最良の医療を提供します。

- 一、患者中心の医療      二、患者の権利と尊厳を守る      三、政策医療の推進
- 四、地域医療への貢献      五、最良・安全医療の提供      六、チーム医療の推進
- 七、経営基盤の確立

### ● 施設の概要

病床数 350 床、政策医療：神経・筋、呼吸器、重症心身障害児(者)

### ● 施設の特徴

当院は、1)結核・呼吸器疾患、2)重症心身障害児(者)、小児慢性疾患、3)神経・筋疾患(筋ジストロフィー)、神経難病等を中心とし政策医療の大分県の最終拠点病院として医療サービスを行っております。

専門診療＜おおいた神経難病総合センター、おおいたこども発達障害センター、おおいた睡眠呼吸センター、九州リンパ浮腫センター＞ 特殊外来＜セカンドオピニオン外来、禁煙外来、睡眠時無呼吸外来、頭痛外来、糖尿病外来、女性専用外来、生活習慣病改善外来、遺伝・不育・胎児ドック、肺ドック、心臓ドック、重症心身障害児(者)、知的障害児(者)デイケア

### ● その他

臨床工学技士と協働で、神経・筋疾患患者への排痰訓練(MI-E 機器を用いて)に力を入れています。

## リハビリテーション部門の紹介 (平成 31 年 4 月 1 日現在)

### ■ 理念

理念：私たちは、患者様の立場に立ち、QOL の向上を目指した、最良のリハビリテーションを提供します。

基本方針：①感染対策・医療安全管理の徹底。②当院の特性に合わせた最善・最良の医療提供と、患者の立場に立ったサービスの実施。③チーム医療の推進や後方支援施設・介護分野との連携強化。④経営基盤の確立。(目標単位数達成、効率的業務遂行、心リハ強化) ⑤自己研鑽(研修・学会への

積極的参加。

## ■ スタッフ

リハ医（兼任）1名、PT（常勤）11名、OT（常勤）6名（育休）1名、ST（常勤）4名、助手（非常勤）1名

## ■ 施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）  
廃用症候群リハビリテーション料（Ⅰ）  
運動器疾患リハビリテーション料（Ⅲ）  
呼吸器疾患リハビリテーション料（Ⅰ）  
心・大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）  
障害児・者リハビリテーション料  
がん患者リハビリテーション料  
集団コミュニケーション療法料

## ■ 週間スケジュール

毎日：8：30～ミーティング・清掃  
第二木曜日：17：30～勉強会  
毎週水曜日：車椅子・補装具作製検討  
病棟別のリハカンファ、疾患別のリハカンファ

## ■ 主な対象疾患と特色

神経難病、筋ジス、重症心身障害児・者、呼吸器疾患、心疾患、血液内科疾患、リンパ浮腫、小児肥満、訪問リハ、デイケア 等

## ■ 施設内活動への参加状況

褥瘡対策チーム会議、NST 委員会、リスクマネジメント部会、院内感染予防委員会、患者サービス委員会、管理診療会議・経営企画会議、療養介護病棟連絡会議、障害者虐待防止部会、診療情報管理委員会、褥瘡ラウンド、NST ラウンド、QC 委員会 企画広報委員会

## ■ 研究・発表活動

総合医学会、九州地区重症心身障害研究会、筋ジス班会議、大分県難病研究会、医療マネジメント学会等

## ■ IT 環境

電子カルテ（JBCC）・部門支援システム（リハッシュ）…平成 29 年 11 月に新情報システム導入

## ■ 連休等の対応

ゴールデンウィーク、年末年始等、4 日以上のお休みが続く場合に、一部の職員が午前中に出勤して対応している。

## ■ 宿日直等の業務

宿直：男性職員、月に 1.5 回程度。  
日直：女性職員、1～2 月に 1 回程度。

## ■ その他

病院機能評価受審（2018 年 3 月）機能種別版評価項目 慢性期病院 3rd G : Ver.1.1

文責：藤内律子



## 施設の紹介

### ● 理念・基本方針

#### 基本理念

「主役は病める人」をモットーとして、患者さんの人権を尊重し、良質かつ高水準の医療を提供します。

#### 運営方針

- (1) 呼吸器および神経・筋疾患の専門医療施設として政策医療を遂行する。
- (2) 循環器病や生活習慣病など地域住民の健康管理に貢献する。
- (3) 教育研修施設として高い評価を得る。
- (4) 健全な経営と思いやりのある病院作りを目指す。

### ● 施設の概要

入院定床：250床（一般 154床、筋ジス 50床、結核 16床、児童精神科 30床）

### ● 施設の特徴

当院では気管支喘息、慢性呼吸不全、結核などの呼吸器疾患、筋ジストロフィーなどの神経筋疾患や気管支喘息などの小児慢性疾患の診療を中心に行っております。高血圧、糖尿病、肥満など生活習慣病の指導も専門医から受けることができます。

気管支喘息、慢性呼吸不全、肺がん、肺結核などの呼吸器疾患、進行性筋ジストロフィーやALS（筋萎縮性側索硬化症）などの神経筋疾患の患者様の診療を中心に行っています。このような病気の診療に関する厚生労働省の指定を受けており、患者様は広く宮崎県内各地から紹介されて来院されています。また、神経疾患を主とする宮崎県難病医療連絡協議会の拠点病院としても県内各地の患者様を受け入れています。

高齢者を中心とした脳血管障害のリハビリテーション、高血圧、肥満、糖尿病などの生活習慣病の予防と管理にも力を入れており、専門医の診療を受けることができます。

慢性の病気があり、支援学校での教育が必要な小児の患者様の受け入れも行っており、このような患者様にとっては、教育が保証された県内で数少ない病院の一つになっています。

また、特殊外来として、在宅酸素療法（HOT）外来、セカンドオピニオン外来、禁煙外来を実施。平成30年7月1日からは宮崎県初となるロボットスーツHALを導入し、ALSや筋ジストロフィーなど8疾患を対象に歩行訓練を実施しています。





## リハビリテーション部門の紹介（令和元年 8 月 1 日現在）

### 理念

患者様に満足していただけるリハビリテーションを提供する。

### スタッフ

リハ医（兼任）1 名、P T（常勤）6 名　O T（常勤）2 名　S T（常勤）1 名

### 施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）

運動器疾患リハビリテーション料（Ⅰ）

呼吸器疾患リハビリテーション料（Ⅰ）

障害児・者リハビリテーション料

廃用症候群リハビリテーション料（Ⅱ）

歩行運動処置（ロボットスーツによるもの）

がん患者リハビリテーション料：令和元年 8 月より

### 週間スケジュール

毎朝 8:30～ 清掃、朝礼　各病棟カンファレンス（1 回/2 周）、HAL カンファレンス（1 回/月）呼吸器カンファレンス（1 回/週）週 1 回、リハ医とのミーティング（1 回/月）

### 主な対象疾患と特色

神経筋疾患、筋ジストロフィー症、肺結核、呼吸器疾患、胸部外科、運動器疾患など

### 施設内活動への参加状況

管理診療会議、月次評価委員会、クリティカルパス委員会、業務改善部会、接遇改善部会、医療安全推進者担当会議、スキルアップセミナーでの講演、リハビリ対象患者について病棟看護師・地域連携室とのカンファレンス、痛みサポートチーム、摂食嚥下チーム、VF など

### 研究・発表活動

・HAL 医療用下肢タイプ運用指導者養成研修、重度難病患者コミュニケーション支援講座、第 34 回全国筋ジストロフィー福岡大会、第 7 回呼吸療法勉強会、第 12 回日本医療マネジメント学会（H30 年度参加、発表）

### IT 環境

平成 23 年 7 月より電子カルテ（JBCC）、リハビリ支援ソフト（リハッシュ）導入

### 連休等の対応

土曜勤務　連休年末勤務　祝日勤務あり　（代休扱い）

### 宿日直等の業務

なし

### その他

文責：大浪徳明



# 独立行政法人 国立病院機構 都城医療センター

National Hospital Organization Miyakonojo Medical Center



所在地：〒885-0014

宮崎県都城市祝吉町 5033 番地 1

電 話：0986-23-4111

## 施設の紹介

### ● 理念・基本方針

高度で良質な医療を提供し、病む人々が安心し、信頼できる病院をめざします。

- ・ チーム医療を推進し、病む人々の立場に立った安全で信頼できる医療を実現する。
- ・ 高度医療、快適な環境をめざすとともに、健全な経営に努める。
- ・ 地域に根ざした医療の発展のため、地域医療連携を推進する。
- ・ 高い知識と技術を養うため、研修と教育を充実する。

### ● 施設の概要

病床数 307 床

### ● 施設の特徴

当院は急性期型病院として、高度急性期医療を中心とした医療を行っており、病床数は 307 床。地域がん診療連携拠点病院に指定され、5 大がんはもとより血液がん、婦人科がん、泌尿器がんなど診断・治療を地域の医療機関と連携して行っています。さらに県より周産期母子医療センターとして認定され、母体搬送から新生児の集中治療など高度の周産期医療にも対応しています。平成 27 年度から消化器内科、28 年度 8 月より NST 外来を、稼働しています。29 年度 3 月より 4 階病棟を在宅サポート病棟（地域包括ケア病棟）として 60 床の内 40 床で稼働しています。政策医療をふくめ、地域医療支援病院、救急告示病院、開放型病院として、地域医療を担い、“かかりつけ医”の先生方とも連携を深めながら高度で総合的な医療を展開しています。また、地域包括ケア病棟開設により、在宅復帰に向けた精緻な回復期医療も併せて展開しています。

### ● その他

看護学校を併設

病院機能評価 3rdG Ver.1.0 取得（2015 年 1 月）

DPC

## リハビリテーション部門の紹介（令和１年８月１日現在）

### ■ 理念

施設の理念に順ずる。患者さんとの会話を大切に、信頼されるリハをめざし、退院時に『楽しかったよ！』と言われるようなリハビリを目標にしています。

### ■ スタッフ

リハ医（専任）１名、ＰＴ（常勤）６名、ＯＴ（常勤）２名

### ■ 施設基準

運動器疾患リハビリテーション料（Ⅰ）

呼吸器疾患リハビリテーション料（Ⅰ）

脳血管疾患リハビリテーション料（Ⅱ）

廃用症候群リハビリテーション料（Ⅱ）

がんのリハビリテーション料

### ■ 週間スケジュール

月：ＲＳＴラウンド

火：緩和ラウンド

水：在宅サポート病棟カンファ

木：２階・３階・５階カンファ、ＮＳＴラウンド

金：ウロカンファ

### ■ 主な対象疾患と特色

整形外科疾患（人工関節置換術 骨折など）

呼吸器疾患

がん疾患 など

### ■ 施設内活動への参加状況

クリティカルパス委員会、リスクマネジメント部会、患者サービス部会、褥瘡対策委員会、

口腔ケア部会、管理診療会議、ＮＳＴ委員会・カンファレンス、緩和ケア委員会

がん診療連携拠点病院運営委員会、ＲＳＴ委員会

部会のラウンドや勉強会、市民健康講座、看護学校講義、キャンサーボード

### ■ 研究・発表活動

院内発表、学会発表

### ■ IT環境

平成２８年８月より新電子カルテ導入

部門システムは、リハメイト使用

### ■ 連休等の対応

４連休以上の時に、対応。土曜日は、２人半日出勤（超勤）

### ■ 宿日直等の業務

なし

文責：仮上透



所在地：〒889-1301

宮崎県児湯郡川南町大字川南 19403-4

電話：0983-27-1036



## 施設の紹介

### 🌸 理念・運営方針

理念：思いやりの心で満足される医療をめざします

運営方針

1. 良質で安全な医療の提供
2. 政策医療の推進
3. 医療連携の推進
4. 健全経営
5. チーム医療の推進

### 🌿 施設の概要

診療科：整形外科、糖尿病・代謝内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、脳神経内科、  
放射線科、神経小児科、リハビリテーション科

病床数：一般 60 床（うち 14 床は地域包括ケア病床）、重症心身障害児・者 120 床

### 🌟 施設の特徴

政策医療の柱として重症心身障害児（者）医療がありますが、B型通園事業を平成 15 年 10 月より始めており在宅児（者）の支援も入院児（者）と同様に力を入れています。

一般医療については整形外科、小児科、内科などでそれぞれ対応しており、平成 27 年 5 月より地域包括ケア病棟が開始されました。

特殊外来：糖尿病教室、フットケア

### 🍊 その他

B型通園事業の実施、セカンドオピニオン外来

## リハビリテーション部門の紹介（令和元年 8 月 1 日現在）

### ■ 理念

特になし

### ■ スタッフ

理学療法士（常勤）6 名、作業療法士（常勤）2 名、言語聴覚士（常勤）1 名

### ■ 施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）      運動器疾患リハビリテーション料（Ⅰ）  
呼吸器疾患リハビリテーション料（Ⅱ）      障害児・者リハビリテーション料

### ■ 週間スケジュール

木曜日午後 整形外科カンファレンス、月曜日・木曜日午後 重症心身障害児者病棟カンファレンス

### ■ 主な対象疾患と特色

骨・関節疾患、代謝性疾患、呼吸器疾患、重症心身障害児者・・・骨・関節疾患が多くをしめ、術後の急性期（TKA、THA、脊椎圧迫骨折、大腿骨頸部骨折等が多い）が主になる。重症心身障害児者は、在宅の B 型通園事業利用者に対しても、リハビリテーションを実施している。

### ■ 施設内活動への参加状況

管理診療会議、月次決算評価会、医療安全管理部会、重症心身障害児者会議、院内感染防止対策委員会、診療録等管理委員会、外来運営委員会、クリティカルパス委員会、広報委員会、摂食機能療法委員会、医療機器安全管理委員会、通所事業運営委員会、病院健康フェスティバルなどに参加している。

### ■ 研究・発表活動（ここ 1 年以内のもの）

2018. 11. 9 第 72 回国立病院総合医学会「重症心身障がい児者における脊柱 cobb 角と頂椎回旋位の関係について」伊集院万人
2018. 12. 16 第 6 回日本運動器理学療法学会 TKA 後における非術側にみられた外側スラストの検討」原田宜昭
2019. 3. 9 第 41 回九州地区重症心身障害研究会「意思表出技法の学習によりコミュニケーションボードの活用に至った高齢脳性麻痺者 1 例」坂本千尋
2019. 6. 15 鹿児島・宮崎県合同研修会「当院における重症心身障がい児者への作業療法の取り組みについて」岡田祐輝

### ■ IT 環境

リハビリテーション室内にてインターネットの利用可。  
診療録は紙運用。

業務管理にリハマネージャー使用、PACS は病棟スタッフ室で閲覧可能。

#### 連休等の対応

連休中の対応は原則行っていないが（GW、年末年始のみ対応）、地域包括ケア病棟の直近 3 ヶ月の平均単位数が 2.0 を満たさない場合に、休日出勤の可能性がある。

#### 宿日直等の業務

日直が 3 ヶ月に 1 回程度。

#### その他

特になし

文責：荒井慎一





独立行政法人  
国立病院機構 **鹿児島医療センター**  
National Hospital Organization Kagoshima Medical Center

所在地：〒892-0853 鹿児島市城山町 8-1  
電 話：099-223-1151



## 施設の紹介

### ● 理念 運営方針

#### 理念

良質の医療を病む人の立場に立って提供し国民の信頼に応える病院を目指します。

#### 運営方針

##### ● 診療

心臓病、脳卒中及びがんの診療を柱とし、病む人と家族の目線に立った、分かりやすく質の高い医療を地域の医療機関と連携・機能分担しつつ全職員協力して提供します。

##### ● 教育・研修

質の高い医療従事者の育成のために、医療従事者の基礎・生涯教育を推進します。

##### ● 臨床研究

地域、国立病院機構ネットワークと協力しつつ臨床研究を推進し、医療の質の向上に貢献します。

### ● 施設の概要

標榜診療科：循環器内科、心臓血管外科、脳血管内科、脳神経外科、小児科、血液内科、消化器内科、糖尿病・内分泌内科、外科、泌尿器科、婦人科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科、歯科口腔外科、腫瘍内科、皮膚腫瘍科・皮膚科、腎臓内科、眼科、救急科

ベッド数：410 床

主な機能：循環器基幹医療施設、地域がん診療連携拠点病院、エイズ拠点病院、地域医療支援病院、臨床研修指定病院、医療被曝低減施設、肝疾患診療連携拠点病院、脳卒中専門施設など

### ● 施設の特徴

鹿児島医療センターは循環器疾患、脳血管疾患、がんの専門医療・高度医療施設として鹿児島の地域医療の中で役割を果たせるように努力している。

### ● その他

## リハビリテーション部門の紹介（令和1年8月1日現在）

### ■ 理念（部門目標）

1. リハビリ部門業務の再構築・院内連携強化
2. リハビリの質及びサービスの向上
3. 職場内環境の充実

### ■ スタッフ

P T 6 名、O T 2 名、S T 2 名

### ■ 施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）

廃用症候群リハビリテーション料（Ⅱ）

心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）

がん患者リハビリテーション料

### ■ 週間スケジュール

各病棟、診療科のカンファレンスに参加している。

### ■ 主な対象疾患と特色

脳血管疾患、心大血管疾患、がん疾患を対象としている。ICU・HCU・SCU 入室中からの早期介入リハの実施、がん疾患の一部では術前からの介入も行っている。平成 30 年度からは ICU 早期離床・リハチームに 1 名の専任 PT をつける体制に変更した。

### ■ 施設内活動への参加状況

管理診療会議、医療安全推進担当者会議、緩和ケア委員会、クリティカルパス推進委員会、月次決算評価会、RST 会議、医療情報管理委員会、褥瘡委員会、糖尿病教室、医療サービス向上委員会、教育担当者会議、NST 委員会、口腔ケア委員会、認知症ケア委員会

### ■ 研究・発表活動

平成 30 年度は国立病院総合医学会、国立病院機構鹿児島・宮崎施設合同研修会、当院主催の各種市民公開講座での発表を行った。

近年の学会・研修会への参加は、日本心臓リハビリテーション学会、日本医療マネジメント学会、日本言語聴覚学会、日本摂食嚥下リハビリ学会、日本静脈栄養学会、国立病院理学療法士協議会九州部会学会、国立病院作業療法士協議会九州部会研修会、国立病院言語聴覚士協議会九州部会学会、鹿児島リハ医学研究会、鹿児島高次脳機能研究会などである。

### ■ IT 環境

電子カルテ 株式会社ソフトウェア・サービス（平成 24 年 7 月より導入）

### ■ 連休等の対応

連続 3 日間以上の連休にならないように、交代で休日・祝日出勤の対応をしている。

### ■ 宿日直等の業務

なし

### ■ その他

文責：口石智秀



独立行政法人  
国立病院機構

# 指宿医療センター

所在地：〒891-0498

鹿児島県指宿市十二町 4145 番地

電話：0993-22-2231（代表）



## 施設の紹介

### ● 理念・基本方針

#### 当院の理念

患者さまにやさしく地域に信頼される良質な医療の提供を目指します。

#### 運営目標

- 1 健全な経営基盤を確立します。
- 2 政策医療としてがん診療の向上を目指します。
- 3 成育医療の充実を目指します。
- 4 救急医療の充実を目指します。
- 5 脳血管障害の治療の向上を目指します。
- 6 地域医療機関との連携を図り、説明と同意に基づいた安全で質の高い医療を目指します。

### ● 施設の概要

病床数 156 床（一般病床 138 床、感染病床 4 床、地域包括病床 14 床）

### ● 施設の特徴

指宿地域の医療ニーズに応じた急性期医療、特に「脳卒中」・「がん」・「循環器」・「消化器」をセンター化し、充実させていきます。

### ● その他

開放型病院、地域医療支援病院、鹿児島県がん診療指定病院

## リハビリテーション部門の紹介（令和元年 8 月 1 日現在）

### ■ 理念

理念：患者様自身が自らの力を発揮し喜びにつながるリハビリ医療を提供します。

#### 基本方針

1. 当院の特色に合わせた最善・最良の医療提供と、患者の立場に立った医療サービスの実施
2. 自己研鑽  
常に学ぶ態度を持ち日々研鑽に勤め患者様の満足度を高めます。
3. チーム医療の推進や後方支援施設・在宅支援連携体制の強化  
医師、看護師、他のコ・メディカル、事務部門とのチームの中で専門性を発揮しながら連携を推進します。
4. 経営基盤の確立  
良質な医療は安定ある病院基盤からということを念頭に起き、業務を遂行します。

## 5. 感染対策・医療安全管理の徹底

### ■ スタッフ

リハ医（兼任）1名、PT（常勤）4名、OT（常勤）2名、ST（常勤）1名、リハ助手1名  
リハビリ科スタッフ全員が、がんリハ研修を受講出来るように対応している。

### ■ 施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）  
廃用症候群リハビリテーション料（Ⅱ）  
運動器疾患リハビリテーション料（Ⅰ）  
呼吸器疾患リハビリテーション料（Ⅰ）  
心・大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）  
がん患者リハビリテーション料

### ■ 週間スケジュール

毎日 08:30 からミーティング  
毎週水曜日：地域包括会議  
毎週水、木、金：病棟カンファ実施

### ■ 主な対象疾患と特色

対象疾患：心大血管疾患、脳卒中・廃用症候群、神経・筋疾患、呼吸器疾患、胸部・腹部外科術後  
特色：当科は、鹿児島県薩南地区において唯一の心大血管疾患リハビリ（Ⅰ）の施設基準を  
取得している病院であります。

### ■ 施設内活動への参加状況

管理診療会議、CP委員会、NST委員会、医療安全管理部会、広報誌編集委員会、  
診療録等開示委員会、院内感染対策委員会、経営改善検討委員会、摂食嚥下機能改善検討委員会  
NST・褥瘡委員会及びラウンド、地域包括ケア病床会議

### ■ 研究・発表活動

リハ関係学会、研修会等で各人毎年1演題以上を目標とする。

### ■ IT環境

日報等の事務処理は、リハマネージャーで対応している。H29年5月 電子カルテ（富士通）  
導入。H30年2月業務支援ソフトリハマネ V4 からNSへバージョンUP。

### ■ 連休等の対応

連続して4日以上の子休の場合は、出勤日（代休制）を設けて対応している。  
G・Wと年末年始は、包括病床・急性期リハ対象患者に限り輪番制で対応している。

### ■ 宿日直等の業務

宿直（月1回）がある。

### ■ その他

H28年7月 地域包括病床（14床）運用開始。  
H29年5月 新病棟完成 また、同月 電子カルテ（富士通）導入。  
将来的に、リハスタッフの増員ができる環境を構築していきたい。  
H29年7月 土曜勤務（代休制）開始。

文責：大浦宏樹

# 独立行政法人 国立病院機構 南九州病院

所在地：〒899-5293

鹿児島県始良郡加治木町木田 1882

電話：0995-62-2121



## 施設の紹介

### ● 理念・基本方針

院 是

「病む人に学ぶ」

基本理念

患者様とともに、安全で良質な、理想の医療の実現をめざします。

基本方針

1. 「患者様」を第一と考え、「地域」との連携、及び「病院職員」間の融和のもとに、チーム医療を推進します。
2. 「質の高い医療」、「思いやりの医療」、「健全経営を基盤とする医療」を目標とし、心身ともに癒される医療を提供します。
3. 院是のもと、「心をついて目標に邁進する気持ち」を忘れず、患者様と地域に信頼される病院をめざします。

### ● 施設の概要

病床数 445 床

### ● 施設の特徴

当院が担っている政策医療：

1. 呼吸器疾患（肺癌等）の医療
2. 結核医療（エイズ合併症患者を含む）
3. 神経・筋疾患の医療
4. 脳性麻痺の早期診断・早期治療
5. 小児慢性疾患の地方基幹施設としての役割
6. 重症心身障害児（者）及び発達障害児の療育
7. がん患者のリハビリテーション

### ● その他

- ・ 日本医療機能評価機構認定病院（Ver. 6.0） 認定
- ・ ホスピス緩和ケア棟の運用（緩和ケアボランティア養成講座 年1回4日間コース実施）
- ・ 母子入院      ・ セカンドオピニオン外来

## リハビリテーション部門の紹介（令和元年6月1日現在）

### ■ 理念



患者様ひとりひとりのＱＯＬを高めて、常にその人らしい生活が送れるようなリハビリテーションを提供します。

#### リハビリテーション科基本方針

1. 先進的なリハビリテーション医療の知識・技術の向上に努めます。
2. 患者様ひとりひとりの声に耳を傾け、患者様が安心できるリハビリテーション医療を実践します。
3. 院内の他職種との連携をはかり、院内のチーム医療としてのリハビリテーション医療の充実化に努めます。
4. 当院のリハビリテーション対象疾患の治療を通じて、県下の保健・医療・福祉・教育機関との連携をはかり、地域リハビリテーションの発展に寄与します。

#### ■ スタッフ

リハ医（専任）2名、PT（常勤）10名、OT（常勤）5名、ST（常勤）3名

#### ■ 施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）

運動器疾患リハビリテーション料（Ⅰ）

呼吸器疾患リハビリテーション料（Ⅰ）

障害児・者リハビリテーション料

がん患者リハビリテーション料

#### ■ 週間スケジュール

毎月第2・第4月曜日のいずれか 17:20～小児科勉強会 火曜日 8:30～9:00 朝礼

第4水曜日 17:15～勉強会・症例検討

#### ■ 主な対象疾患と特色

重心、筋ジス、発達障害、神経難病、呼吸器内科、呼吸器外科、がん

#### ■ 施設内活動への参加状況

NST・褥瘡委員会、リスクマネジメント部会、感染対策チーム、緩和ケアチーム委員会、診療録小委員会、医療サービス委員会、クリティカルパス委員会、院内・外広報委員会、通所運営連絡委員会、棚卸委員会、月次決算委員会、管理診療会議等ほとんど全部の会議に参加

#### ■ 研究・発表活動

国立病院総合医学会等全国レベルから院内レベルの発表まで活動

#### ■ IT環境

平成23年3月より 電子カルテで運用、平成29年2月更新（NEC）済み。部門システムはリハメイト使用。

#### ■ 連休等の対応

現在、急性期の患者さんに対しては医師の指示により3日以上のお休みとならないように対応しています。H29年9月より小児科のみ第2・第4土曜日半日出勤で対応。

#### ■ 宿日直等の業務

なし

#### ■ その他

発達障害、神経難病、呼吸器疾患に力を注いでいる。

文責：羽島厚裕





所在地：〒901-2214

沖縄県宜野湾市我如古 3-20-14

電話：098-898-2121



## 施設の紹介

### ● 理念・基本方針

「患者さまの立場を尊重し、高度で良質の医療を提供します」

### ● 施設の概要

病床数 300 床（一般：46 床、筋ジス：100 床、難病：45 床、結核：30 床、一般 14 床、  
緩和ケア：25 床、地域包括ケア：40 床）

### ● 施設の特徴

診療科：内科、神経内科、呼吸器科、外科、整形外科、呼吸器外科、リハビリテーション科、  
放射線科、麻酔科、病理診断科

#### ■ 呼吸器センター

日本呼吸器外科学会認定施設、日本呼吸器外科学会専門医認定機構認定基幹施設、  
日本呼吸器学会認定施設  
日本呼吸器内視鏡学会認定施設。

#### ■ 神経・筋センター

日本神経内科学会の認定施設。

#### ■ がんセンター

放射線専門医修練協力機関、日本外科学会専門医制度修練施設、  
日本胸部外科学会の認定・専門医修練施設、日本がん治療認定機構認定研修施設、  
日本緩和医療学会認定研修施設、日本病理学会研修登録施設。

### ● その他

緩和ケア病棟の運用、セカンドオピニオン外来、ISO9001:2008 の取得

## リハビリテーション部門の紹介（令和1年8月1日現在）

### ■ 理念

特になし

### ■ スタッフ

理学療法士：6名（常勤） 作業療法士：5名（常勤） 言語聴覚士：1名（常勤）

### ■ 施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション（Ⅰ）

呼吸器疾患リハビリテーション（Ⅰ）

運動器疾患リハビリテーション（Ⅰ）

廃用症候群リハビリテーション（Ⅰ）

障害児・者リハビリテーション

包括ケア病棟（令和元年7月より開設）

### ■ 週間スケジュール

水曜日：神経内科回診、呼吸器内科カンファレンス

木曜日：呼吸器外科回診

### ■ 主な対象疾患と特色

脳血管疾患等リハ：神経筋疾患・難病

（パーキンソン病・多系統症候群・ALS・MS・ミオパチー・etc）

脳血管疾患、HAM

呼吸器疾患リハ：COPD、肺炎、肺癌術後・呼吸パス、肺結核

運動器疾患リハ：骨折、軟部腫瘍 など

廃用症候群リハ：肺結核、内・外科系など

障害児・者リハ：筋ジストロフィー（入院・外来）

### ■ 施設内活動への参加状況

管理診療会議、院内感染防止・医療安全管理委員会、褥瘡対策委員会、経営戦略検討第1・4小委員会、リスクマネジメント部会、月次決算及び評価会・経営戦略検討委員会、ISO推進委員会、電子カルテ運用委員会、クリティカルパス委員会、NST委員会、リハビリリンクナース会議、院内勉強会への参加、看護部の勉強会への講義、外来管理委員会、療育会議、RST会議、包括ケア病棟WGなど

### ■ 研究・発表活動

全国学会 県学会 呼吸器研修会

### ■ IT環境

電子カルテシステム（SSI）にて平成29年7月より運用

### ■ 土曜出勤

第1.3.5土曜日は交替性にて勤務

### ■ 宿日直等の業務

なし

### ■ その他

平成29年3月よりHAL導入開始。平成30年3月新リハ室移転済み。

文責：吉永隆一郎

琉球病院

〒904-1201

沖縄県国頭郡金武町字金武7958-1

電話 098-968-2133



### 基 本 理 念

この病院で最も大切なひとは医療を受ける人である

### 運 営 方 針

1. 必要とされる医療を求め、必要な医療を提供します。
2. 開かれた精神科医療と病院を創造します。
3. エビデンスに基づいた精神医療を提供します。
4. エビデンスを提供できる医療の担い手となります。
5. 健全な財政運営に立脚した病院発展を目指します。

### ◎施設の概要

病床数：406 床（重症心身障がい児（者） 80 床、精神 291 床、医療観察 35 床）

学会認定：日本精神神経学会精神科専門医研修施設

### ◎診療科

内科・精神科・神経科・児童精神科・リハビリテーション科・麻酔科・(歯科)

### ◎施設の特徴

1. 依存症治療専門病棟
2. クロザリル治療専門病棟
3. スーパー救急病棟
4. 認知症治療専門病棟
5. こども診療科
6. DPAT 災害派遣精神医療チーム

### ◎リハビリテーション科目標

#### 1. リハビリテーションシステムの整備

「病棟とリハ棟、入院と地域外来におけるシームレスな連携」

#### 2. リハ棟（あしびなあ棟）の活性化

#### 3. 精神化作業療法算定件数の維持増進

#### 4. 学びの機会を大切にする

- ・生活に関すること
- ・人権、特に言葉（言霊）に関すること

#### ◎スタッフ

作業療法士 14 名

理学療法士 1 名

言語聴覚士 1 名

#### ◎施設基準

精神科作業療法

デイケア大規模

障害児・者リハビリテーション

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅲ）

廃用症候群リハビリテーション（Ⅲ）

運動器リハビリテーション料（Ⅲ）

#### ◎スケジュールなど

火曜日：リハビリテーション室会議

月 1 回：リハビリテーション部会議

文責：天願博通

# 国立療養所菊池恵楓園

National Kikuchiikeifuen Sanatorium

所在地：〒861-1113 熊本県合志市栄 3796

電 話：096-248-1131（代）



## 施設の紹介

### 🌸 理念・基本方針

基本理念：心と心のふれあいを軸として豊かな自然環境の中で心身の安らぎと心豊かな療養生活を提供し地域の方々と共に歩めるよう努めます

基本方針：入所者の個々に応じた医療・福祉に努めます

快適な生活環境を提供し療養生活の充実に努めます

入所者の社会参加に対する支援に努めます

偏見や差別の解消のため更なる啓発活動に努めます

職員の教育研修に努めます

### 🌿 施設の概要

医療法病床 5 9 5 床、入院定床（訓令定床）2 6 6 床 入所者数 1 8 5 名（令和元年 9 月 1 日現在）

### 🌍 施設の特徴

当園は、明治 4 2 年に九州七県連合立九州らい療養所として開設され、昭和 1 6 年には国立に移管され、国立療養所菊池恵楓園と改称し、平成 2 1 年で創立 1 0 0 周年を迎えました。

国立ハンセン病療養所の中でも最大規模で、約 6 2 万平方メートルの敷地に、治療棟・病棟のほか、不自由者棟・一般寮と呼ばれる住居、そして教会、公園などがあります。

1. ハンセン病の治療及びリハビリテーション
2. 合併症の治療（治療センター併設）
3. 人工透析、義肢装具
4. 身体障害者認定医師（眼科・内科・整形外科・外科）

## リハビリテーション部門の紹介（令和元年9月1日現在）

### ■ 理念

今後、更なる高齢化が進む当園の状況を鑑み、転倒予防・介護予防・生活支援を目標としたリハビリテーション業務の充実に努める。

### ■ スタッフ

リハ医（専任）1名、理学療法士6名、作業療法士3名、言語聴覚士2名、マッサージ師1名、  
リハビリ助手2名、義肢装具士1名、義肢装具製作技士1名

### ■ 施設基準

なし

### ■ 週間スケジュール

毎日 8:25～ 朝ミーティング、17:00～ 終礼（新患紹介、連絡、討議等）

毎週木曜 褥瘡ラウンド

隔週火曜 ロコモ体操教室

病棟・不自由者寮カンファレンス（全リハ職員対象）

不自由者寮訪問業務

退院支援

集団療法：認知集団療法 音楽療法 園芸療法

### ■ 主な対象疾患と特色

ハンセン病施設であり、主に療養者に対する整形外科疾患、脳血管障害、認知症等  
老年期リハビリテーションを中心に提供している。

### ■ 施設内活動への参加状況

管理診療会議、情報システム委員会、褥瘡対策委員会、医療安全管理委員会

セーフティマネジメント委員会、リハビリテーション運営委員会、園長回診、各チーム活動

### ■ 研究・発表活動

国立病院総合医学会・ハンセン病コメディカル学術集会・ハンセン病学会

### ■ 宿日直等の業務

男性スタッフの一部が福祉課宿日直業務を割り振られている

### ■ その他

診療報酬は請求していない。病院機能評価受審済み

文責：木村英志





# 国立療養所 星塚敬愛園



## 施設の紹介

### ● 理念・基本方針

- ・おだやかで やすらぎのある ほしづか

私たちは、入所者の心に届く医療・看護・介護・福祉を目指し、地域社会にとけこみ、ボランティアの連携など、明るい施設づくりに努めます。

### ● 施設の概要

所在地：〒893-8502 鹿児島県鹿屋市星塚町 4204 番地

電話：0994 (49) 2500、FAX：0994 (49) 2542

代表者：山元隆文

創立：昭和 10 年 10 月 28 日

標榜診療科：内科、外科、整形外科、皮膚科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科口腔外科

敷地：372,972 m<sup>2</sup>

環境：大隅半島、鹿屋市街地より南 8km、鹿屋台地の一角に位置し、南に横尾岳、北に高隈山を望み、風光絶景にして春秋の季長く気候温暖、周囲は桧垣に囲まれ、閑静で療養に適している

### ● 施設の特徴

ハンセン療養所

### ● その他

## リハビリテーション部門の紹介（2019 年 8 月 1 日現在）

### ■ 理念

#### 基本理念

入所者の方々が安全で豊かな生活をおくれるように最善のリハビリテーションサービスを提供します。

#### 基本方針

- ・コミュニケーションを大切に入所者の立場に立った援助を行います。
- ・リハビリテーション医療の技術を通じ入所者の生活の質向上に努めます。
- ・心身の健康維持、廃用予防の観点からのサービス提供に努めます。

### ■ スタッフ

PT（常勤3名）、OT（常勤3名）、ST（常勤1名）、看護師1名

### ■ 施設基準

なし

### ■ 週間スケジュール

毎日

⇒ 8:00～ 機器準備・始業前点検、8:25～ 朝礼、11:45～ 部内ミーティング

火曜日 15:00～

⇒ NST ラウンド・カンファレンス（ST 参加）

水曜日・金曜日 13:00～15:00

⇒ 手工芸活動（OT 主催、作業療法室にて）

水曜日 13:10～

⇒ 病棟回診（PT・OT・ST 参加）

水曜日・金曜日 13:30～

⇒ フレイル予防レクリエーション（不自由舎棟にて、PT・ST 参加）

### ■ 主な対象疾患と特色

- ・ハンセン病後遺症および慢性疼痛疾患が主。それらに対して低周波など様々な物理療法機器を併用している。
- ・高齢化により運動器疾患の合併や呼吸器疾患・心臓疾患などの発症も増加しているため、様々な運動機器も積極的に使用して個々の症状・状態にあった運動療法を展開している。
- ・内科的治療や他病院での外科的治療後の入所者も増えてきており、それに伴った廃用症候群も増えてきている。
- ・認知症も多くなり、それに対して OT が主となって介入している。
- ・高齢化によりフレイルの状態にあり、それに対して PT・ST が進行予防に介入している。

## ■ 施設内活動への参加状況

生活支援検討委員会  
医療安全対策委員会  
感染対策委員会  
リスクマネジメント部会  
ICT 委員会  
NST・褥瘡委員会  
管理診療会議  
外来運営会議  
診療録委員会  
防火防災対策委員会  
レクレーション実行委員会（春季・秋季）  
広報誌委員会（2回/年）

## ■ 研究・発表活動

日本ハンセン病学会学術大会・コ・メディカル学術集会、国立病院総合医学会など

## ■ IT 環境

診療記録は紙媒体。  
部門システムあり（リハマネージャー）、オーダーリングと未連動。  
電子カルテ導入予定なし。

## ■ 連休等の対応

年末・年始、ゴールデンウィーク等 3 日以上休みが続く場合には交代で診療業務があり

## ■ 宿日直等の業務

夜間福祉宿直業務あり。  
宿直の主な業務は、入所者様の送迎、各設備の施錠・解錠、敷地内巡視。

## ■ その他

- ・保険診療は未実施。そのため診療報酬の請求は行っていない。
- ・病院機能評価受審済み。
- ・2018 年度よりリハビリ室所属の看護師が配置。
- ・リハ室所属看護師が各部署との調整を行い、セラピスト・リハ室所属看護師・各部署の看護師と連携しカンファレンスを行い、入所者様各個人の状況に応じた居室調整などを定期的・必要に応じて行っている。
- ・入所者様各個人が昔行っていた趣向活動（ゲートボール、卓球など）を取り入れてリハビリに「楽しみ」をもていただくようにしている。

文責：梶谷泰央



所在地：〒894-0007

鹿児島県奄美市名瀬和光町 1700 番地

電 話：0997-52-6311



## 施設の紹介

### 理念

私たちは入所者一人ひとりの生命の尊厳と人権を守り豊かな自然環境にまつまれた穏やかで心豊かな療養生活と安全で安心できる医療を提供します

### 基本方針

1. 入所者の終の棲み家として心穏やかな暮らしを支えることを基本とします
2. 入所者自治会とよく話し合い 入所者本位の運営に努めます
3. 入所者一人ひとりの日々の変化にきめ細かく対応いたします
4. ハンセン病による後遺症や合併症の対策をしっかりと行います
5. 入所者が高齢化していることを念頭に置き 健康保持の活動や生活を支える医療 さらに感染予防・認知症対策に重点を置きます
6. 地域医療とも連携し 適切で標準的な医療の提供に努めます
7. ハンセン病に対する正しい知識を普及させるため 啓発活動に努めます
8. 開かれた療養所となることを目的に地域社会との交流促進に努めます
9. 入所者の健康と安全な生活に貢献できるようすべての職員の質の向上に努めます

## 施設の概要

医療法定床 144 床（内 一般病床 4 床）H28.3.15

皮膚科一般診療：平成 23 年 4 月から外来診療再開し、25 年 4 月からは健康保険を適用した入院制度(4 床)が始まっている

## 施設の特徴

奄美和光園は昭和 18 年 4 月わが国 12 番目に誕生した国立療養所で、現在 13 施設ある国立ハンセン病療養所では最も入所者（療養中の元患者さん）が少なく（令和元年 6 月現在、23 名）、かつ高齢化（平均年齢 86.3 歳）を迎え、今後の療養所のあり方について注目を集めているところです。

谷間の緑豊かな環境のなかで、園内には小川が流れる静かな療養所です。

## リハビリテーション部門の紹介（令和元年 8 月 1 日現在）

### 理念

入所者の方々が安全で安心できる療養生活が送れるように

最善のリハビリテーションとその関連サービスの提供を目指します。

### スタッフ

P T 常勤 2 名

O T 常勤 2 名

S T 常勤 1 名

### 施設基準

なし

### 週間スケジュール

月曜～金曜日業務実施

病棟・不自由舎棟の申し送り・カンファレンスへの参加

リハミーティング 木曜日

※カンファレンス等は不定期開催

### 主な対象疾患と特色

ハンセン病元患者対象（ほぼすべての方が手足に感覚障害あり）

### 施設内活動への参加状況

管理診療会議、院内感染症対策会議、医療安全推進担当学会議、医療職(二)会議、

NST 委員会・褥瘡委員会等各種委員会参加、N S T ラウンドへの参加

病院機能評価作業部会

園内行事への参加・補助(和光園夏祭り、ゲートボール大会、敬老祝賀会、合同慰霊祭、

お花見会、ハロウィン、クリスマス会等)

福祉体験学習・看護体験学習への協力、BLS 研修

## 研究・発表活動

年に一度、園内研究発表報告会にて演題発表  
看護・介護員研修等での発表

## IT 環境

紙運用

## 連休等の対応

プログラム作成にて自主訓練  
看護職員への休日プログラム実施協力

## 宿日直等の業務

月に 2～3 回の宿日直業務

## その他

研修会参加  
研究活動  
病院機能評価受審予定  
職員研修

文責：山本英樹





国立療養所宮古南静園  
National Sanatorium Miyako Nanseien



## 施設の紹介

所在地：〒906-0003 沖縄県平良市島尻 888

電 話：0980-72-5321（代）

### ● 理念・基本方針

私たちは、入所者の生命の尊重と人権を守り、入所者が安心して療養できる環境を提供するとともにより良い、医療、看護、介護、福祉の質の向上に努めます。

- ・ 入所者一人ひとりの「生きがい」を共に追求します。
- ・ 安心で信頼できるチーム医療を提供します。
- ・ 地域との交流を図り、ハンセン病の啓発活動に努めます。
- ・ 職員の質の向上のため教育、研修に努めます。

### ● 施設の概要

入所者数：57 名（2019 年 8 月 19 日現在）、入院定床 94 床（医療法定床 138 床）

### ● 施設の特徴

国立療養所宮古南静園は、大きく分けると診療・介護・文化交流・サービスエリアに分けられる。

#### <診療エリア>

病棟：入所者の急な発熱等に伴う一時入院施設

総合棟：2012 年 7 月完成。診療科は、内科・外科・皮膚科・整形外科・耳鼻科・眼科。

旧外来治療棟：歯科・薬剤科・放射線科・リハビリ科・検査科。

#### <介護エリア>

不自由者棟：常時介護を要する入所者の生活居室

#### <生活エリア>

一般舎：（夫婦舎・独身舎）；自立できる入所者の生活居室

売店：入所者の日用雑貨・生鮮食料品を取り扱う

#### <文化交流エリア>

公会堂：入所者および園内行事等の文化交流施設

厚生会館：園内老人クラブ（福寿会）の文化・娯楽施設

文化センター：入所者の囲碁・将棋等の娯楽施設

視覚障害者会館：視覚障害者の文化・娯楽施設

自治会事務所：入所者の自治組織（現在休会中）

### ● その他

皮膚科外来：毎週月・木曜日 13:00～16:00

内科外来：毎週火・金曜日 13:00～16:00

## リハビリテーション部門の紹介（令和元年 8 月 1 日現在）

### ■ 理念・基本方針

入所者の方々が、安全で豊かな療養生活を送れるように最善のリハビリテーションサービスを提供します。

- 1) コミュニケーションを大切にし、入所者の立場に立ったサービスに努めます。
- 2) 安全に配慮した適切なリハビリテーションにより、入所者の生活の質向上に努めます。
- 3) チーム医療の一員として、心身の健康維持・廃用予防の観点からのサービス提供に努めます。

### ■ スタッフ（令和元年 8 月 1 日現在）

PT(常勤)：2 名、OT(常勤)：1 名、ST(常勤)：1 名 …… 計 4 名

### ■ 施設基準

運動器リハビリテーション（Ⅱ）、脳血管リハビリテーション（Ⅲ）

※沖縄県立県立宮古病院からの紹介による保険入院および外来診療対応のため取得

### ■ 週間スケジュール

毎朝 8:40～ 科内ミーティング、毎週水曜 16:00～多職種連携ケアプラン担当者会議

### ■ 主な対象疾患と特色

ハンセン病後遺症（上下肢・手指・足趾の変形拘縮、欠損、切断など）、脳卒中後遺症、  
整形疾患（転倒骨折、腰痛症、下肢の変形性関節症等）

### ■ 施設内活動への参加状況

- ①管理診療会議
- ②医療安全推進担当者会議、医療安全管理委員会
- ③診療録管理委員会、情報システム管理委員会
- ④医療関連感染対策委員会
- ⑤フットケア研究会
- ⑥認知症ケア研究会
- ⑦褥瘡予防対策委員会・NST、
- ⑧包括支援推進担当者委員会

### ■ 研究・発表活動

### ■ IT 環境

- ①ハンセンネット(インターネット、施設外への E メール)  
※府省共通統合ネットワークへ移行済
- ②園内無線 LAN(施設内での職員間 E メール)
- ③カルテ：紙ベース運用(患者情報のみサーバ共有、リハ部門は業務管理用でリハメイト運用)

### ■ 連休等の対応

年末年始の 2 日(12/30、1/2 を半日対応)

### ■ 宿日直等の業務

宿直：PT・OT・ST それぞれ 3 回/月程度、日直：それぞれ 2～3 回/年程度。

文責：与那覇真一

# 国立療養所 沖縄愛楽園



## 施設の紹介

### ● 理念・基本方針

理念 : 入所者・高齢者が安心して生活できる場の提供

#### 基本方針

1. 入所者の権利及び人権を尊重します。
2. 快適な療養環境を提供します。
3. 信頼される医療・看護・介護をめざします。
4. ハンセン病の更なる啓発活動に努めます。
5. 医療の質の向上尾の為、職員の教育・研修に努めます。

### ● 施設の概要

所在地：905-1635 名護市済井出 1192 番地

電話：0980（52）8331、FAX：0980（52）8967

園長：野村 健

標榜診療科：内科、外科、整形外科、皮膚科、眼科

環境：沖縄本島北部の中心、名護市郊外。羽地内海に浮かぶ屋我地島の北端、目の前に古宇利島、遠く本島最北端辺戸岬を望む地にあります。

### ● 施設の特徴

ハンセン療養所

## リハビリテーション部門の紹介（2019年8月1日現在）

### 基本理念

私たちは、ハンセン病の啓蒙に努め、入所者様達がその人らしく、安全で豊かな生活を送れるように利用と介護に関わる最善のリハビリテーションを提供します。

### 基本方針

- ・十分な説明の元に、入所者様の立場に立った援助を行います。
- ・専門職としての知識と技術を提供し、入所者様の生活の質の向上を支援します。
- ・心身の健康維持、廃用予防の観点からのリハビリテーションを提供します。

### ■ スタッフ

PT（常勤3名）、OT（常勤2名）、ST（常勤2名）、

### ■ 施設基準

なし

### ■ 施設内活動への参加状況

管理診療会議

医療安全管理委員会

院内感染対策委員会

医療の質向上委員会

ライフサポートチーム(LST)会議

ライフサポート支援室会議

医療安全推進担当者会議

ICT 委員会

NST 委員会御

褥瘡対策委員会

診療録等管理委員会

防火防災対策委員会

サービス向上委員会

広報誌委員会

りっかりっかサポート会議

オーダーリングシステムワーキングチーム会議

### ■ 研究・発表活動

日本ハンセン病学会学術大会・コ・メディカル学術集会、国立病院総合医学会など

### ■ IT 環境

診療記録は紙媒体。

部門システムあり（リハメイト）、オーダーリングと未連動。

電子カルテ導入予定なし。

## ■ 連休等の対応

特になし

## ■ 宿日直等の業務

宿直および土日・祝日の日直業務あり

宿直の主な業務は、入所者様の送迎、外線対応

## ■ その他

### ・リハビリ農園

毎年、リハビリテーション室入口近くで入所者のアドバイスの元、ゴーヤー、パパイア等を栽培している。日々の成長や収穫物の食べ方等話題提供の素になっている。収穫物は入所者・職員に配っている。

### ・三線

沖縄の伝統楽器である三線を入所者を師匠として指導を受けている。毎年、敬老会の幕開け演奏、コミディカル部門が連携した余興等に参加している。

### ・カラオケクラブ

毎週木曜日のカラオケクラブに、有志が参加している。夏祭り前夜祭等に、入所者と一緒に参加している。

### ・園内行事

恒例となっている、ソフトバレー大会、ミススポーツレク大会、クリスマス会等の園内行事に選手、審判、運営スタッフとして積極的に参加し、入所者との交流に努めている。

文責：松本重陽